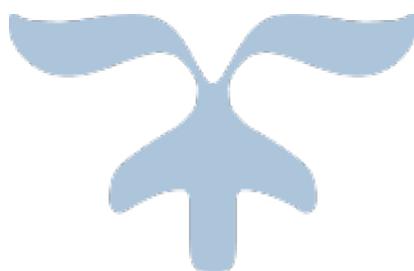


# SYLLABUS

令和2年度高大連携授業

## 後期授業計画

(科目概要)



大学コンソーシアムあきた

# 目 次

1	秋田の今とこれから	(秋田大学)	.....	1
2	秋田の今とこれから	(秋田大学)	.....	2
3	たのしく学ぼう！算数・数学	(秋田大学)	.....	3
4	覗いてみようメディカルスタッフの研究	(秋田大学)	.....	4
5	身近な有機化学・有機化合物	(秋田大学)	.....	5
6	高校生のための応用化学	(秋田大学)	.....	6
7	再生可能エネルギー入門	(秋田大学)	.....	7
8	高校生のための最新人間情報学	(秋田大学)	.....	8
9	超高齢社会への貢献する医用システム工学	(秋田大学)	.....	9
10	科学のための英語	(秋田大学)	.....	10
11	化学の目で最新のニュース解説	(秋田大学)	.....	11
12	教師ミニミニ体験（中央会場）	(秋田大学)	.....	12
13	社会を支える情報通信技術	(秋田県立大学)	.....	13
14	AI・ロボット時代のメカトロニクス	(秋田県立大学)	.....	14
15	C言語プログラミング	(秋田県立大学)	.....	15
16	コンピュータ、役に立ちます	(秋田県立大学)	.....	16
17	コンピュータ、もっと役に立ちます	(秋田県立大学)	.....	17
18	経営の中の数学	(秋田県立大学)	.....	18
19	文学としての英国演劇基礎	(秋田県立大学)	.....	19
20	微積と物理の密接な関係	(秋田県立大学)	.....	20
21	異文化コミュニケーション入門	(秋田県立大学)	.....	21
22	バイオテクノロジーへの招待	(秋田県立大学)	.....	22
23	生物の不思議な世界	(秋田県立大学)	.....	23
24	不思議な木	(秋田県立大学)	.....	24
25	国際教養学への招待	(国際教養大学)	.....	25

26	歴史を動かす簿記・会計について	(ノースアジア大学)	・・・	26
27	日本の高度経済成長を振り返って	(ノースアジア大学)	・・・	27
28	近年の日本経済の状況	(ノースアジア大学)	・・・	28
29	日本の芸能-歌舞伎と人形浄瑠璃	(ノースアジア大学)	・・・	29
30	地域振興と民俗文化との関わり	(ノースアジア大学)	・・・	30
31	国際機関/国際協力	(ノースアジア大学)	・・・	31
32	国際ビジネスマーケティング	(ノースアジア大学)	・・・	32
33	アメリカの歴史を知る	(ノースアジア大学)	・・・	33
34	アメリカの地理を知る	(ノースアジア大学)	・・・	34
35	アメリカの政治を知る	(ノースアジア大学)	・・・	35
36	アメリカの経済を知る	(ノースアジア大学)	・・・	36
37	アメリカの文化を知る	(ノースアジア大学)	・・・	37
38	雪国の暮らしと食習慣	(ノースアジア大学)	・・・	38
39	科学的探究の方法	(ノースアジア大学)	・・・	39
40	現代経済学の基礎（「私」の問題）	(ノースアジア大学)	・・・	40
41	現代経済学の基礎（「心」の問題）	(ノースアジア大学)	・・・	41
42	なぜ学校は必要なのか？	(ノースアジア大学)	・・・	42
43	クローン生物について	(ノースアジア大学)	・・・	43
44	ウイルスって何？	(ノースアジア大学)	・・・	44
45	発酵とは？	(ノースアジア大学)	・・・	45
46	コロナ対策へ	(ノースアジア大学)	・・・	46
47	世界史と法学	(ノースアジア大学)	・・・	47
48	会社とは何か。会社の社長って！	(ノースアジア大学)	・・・	48
49	マンションなど、不動産取引の心得	(ノースアジア大学)	・・・	49
50	自動車保険のしくみと生命保険など	(ノースアジア大学)	・・・	50

5 1	制定過程から日本国憲法を考えてみよう	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	5 1
5 2	高校生のための安全保障学入門	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	5 2
5 3	裁判所のアップ・トゥ・デート	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	5 3
5 4	自分を守り、誰かを守る心理学	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	5 4
5 5	心理学で人狼ゲームを分析しよう	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	5 5
5 6	高校生のための刑法・医事法入門	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	5 6
5 7	「宗教と政治」からみる西洋政治思想史	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	5 7
5 8	文学でたどる世界遺産の旅	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	5 8
5 9	「ちはやふる」の世界へようこそ	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	5 9
6 0	夏目漱石と外国留学	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	6 0
6 1	エアラインサービス	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	6 1
6 2	アジアの文化と観光	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	6 2
6 3	インバウンド観光	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	6 3
6 4	人間社会はどうしたら良くなるのか	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	6 4
6 5	人間の一生をどのように保障するか	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	6 5
6 6	人種差別はなくなるのか	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	6 6
6 7	心理学からみるコミュニケーション	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	6 7
6 8	VRツーリズム	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	6 8
6 9	情報セキュリティ	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	6 9
7 0	A I とロボット、プログラミングの基礎	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	7 0
7 1	ダークツーリズム	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	7 1
7 2	世界最大の観光大国フランス	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	7 2
7 3	Japanese Culture	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	7 3
7 4	ユニバーサルツーリズム	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	7 4
7 5	新しいツーリズム	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	7 5

7 6	役に立つ社会調査の技	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	7 6
7 7	スペイン語の世界	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	7 7
7 8	留学のすすめ	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	7 8
7 9	ようこそ看護学の世界へ	(秋田看護福祉大学)	・ ・ ・ ・ ・	7 9
8 0	医療と福祉の探究	(秋田看護福祉大学)	・ ・ ・ ・ ・	8 0
8 1	高校生のための看護学入門	(日本赤十字秋田看護大学)	・ ・ ・ ・ ・	8 1
8 2	なぜパッケージデザインが必要なのか？	(秋田公立美術大学)	・ ・ ・ ・ ・	8 2
8 3	景観デザインワークショップ	(秋田公立美術大学)	・ ・ ・ ・ ・	8 3
8 4	まちの特異点から読み解く都市・建築デザイン	(秋田公立美術大学)	・ ・ ・ ・ ・	8 4
8 5	正倉院とシルクロードの古代美術	(秋田公立美術大学)	・ ・ ・ ・ ・	8 5
8 6	首里城正殿・守礼門	(秋田公立美術大学)	・ ・ ・ ・ ・	8 6
8 7	初めての言語学	(聖霊女子短期大学)	・ ・ ・ ・ ・	8 7
8 8	食品と栄養の基礎知識	(聖霊女子短期大学)	・ ・ ・ ・ ・	8 8
8 9	高校生のための介護福祉入門	(日本赤十字秋田短期大学)	・ ・ ・ ・ ・	8 9
9 0	楽しく学べる保育入門	(聖園学園短期大学)	・ ・ ・ ・ ・	9 0
9 1	教師ミニミニ体験 (県北会場)	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	9 1
9 2	高校生のための「教職入門」 (県南会場)	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	9 2

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[1] 秋田の今とこれから	科目 担当者	<学部・学科> 教育文化学部 地域文化学科 <職・氏名> 准教授 臼木 智昭
授業概要	少子・高齢化が進む秋田の「今とこれから」について解説します。秋田が直面する課題や、秋田の産業のこれから、地域活性化に向けた取り組みなどについて、具体的な事例を交えながらお話しします。		
授業方法 と留意点	パワーポイントのスライドを使って授業を進めます。 地域課題とその解決に関心がある生徒であれば、文系・理系を問わず受講を歓迎します。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数50名】先着順で募集を締め切ります</b>			
<10月 4日(日) 11:10~12:40>			
第1講: 「秋田の課題」			
最新のデータをもとに、秋田県が直面する課題を解説します。			
<10月 4日(日) 13:20~14:50>			
第2講: 「秋田の産業—今とこれから—」			
秋田県の産業はどのような状況にあって、これからどうなっていくのかを解説します。			
<10月 4日(日) 15:00~16:30>			
第3講: 「地域活性化に向けた取り組み」			
地域活性化に向けた秋田県内の取り組みを紹介します。			
その他	昼食を持参ください。(昼食時間 12:40~13:20)		
テキスト	授業の内容をまとめた資料を配布します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	現代社会、政治・経済		
開講日時	10/4(日)		
	11:10~12:40	13:20~14:50	15:00~16:30
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス 電話: 018-889-3191 (秋田大学 総合学務課 平日9:00~17:00) 科目担当者E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田大学	
科目名 (サブタイトル)	〔2〕秋田の今とこれから		科目 担当者	(学部・学科) 教育文化学部 地域文化学科 (職・氏名) 准教授 臼木 智昭
授業概要	少子・高齢化が進む秋田の「今とこれから」について解説します。秋田が直面する課題や、秋田の産業のこれから、地域活性化に向けた取り組みなどについて、具体的な事例を交えながらお話します。			
授業方法 と留意点	パワーポイントのスライドを使って授業を進めます。 地域課題とその解決に関心がある生徒であれば、文系・理系を問わず受講を歓迎します。			
<b>授 業 計 画</b>				
<b>【募集定員人数50名】先着順で募集を締め切ります</b>				
<10月11日(日) 11:10~12:40>				
第1講: 「秋田の課題」				
最新のデータをもとに、秋田県が直面する課題を解説します。				
<10月11日(日) 13:20~14:50>				
第2講: 「秋田の産業—今とこれから—」				
秋田県の産業はどのような状況にあって、これからどうなっていくのかを解説します。				
<10月11日(日) 15:00~16:30>				
第3講: 「地域活性化に向けた取り組み」				
地域活性化に向けた秋田県内の取り組みを紹介します。				
その他	昼食を持参ください。(昼食時間 12:40~13:20)			
テキスト	授業の内容をまとめた資料を配布します。			
参考文献	授業の中で紹介します。			
関連科目	現代社会、政治・経済			
開講日時	10/11(日)			
	11:10~12:40	13:20~14:50	15:00~16:30	
会場教室	カレッジプラザ			
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス 電話: 018-889-3191 (秋田大学 総合学務課 平日9:00~17:00) 科目担当者E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp			

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[3] たのしく学ぼう！算数・数学	科目 担当者	(学部・学科) 教育文化学部 学校教育課程 (職・氏名) 講師 加藤 慎一
授業概要	本授業を通して、高校生の皆さんが、算数・数学を学ぶたのしさを実感したり、算数・数学の理解を深めたりできるようになることを目指します。授業のなかで、高校生の皆さんが主体的に考えることを大切にします。		
授業方法 と留意点	スライドや黒板を使いながら授業を進めていきます。必要に応じて、資料を配布します。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数12名】先着順で募集を締め切ります</b>			
<10月 6日(火) 17:30~19:00>			
第1講：「たのしく学ぼう！算数・数学①小学校算数編」			
日常生活など皆さんの身近に潜んでいる小学校算数の内容について体験的に学ぶことを通して、小学校算数を学ぶたのしさを追究します。			
<10月13日(火) 17:30~19:00>			
第2講：「たのしく学ぼう！算数・数学②中学校数学編」			
日常生活など皆さんの身近に潜んでいる中学校数学の内容について体験的に学ぶことを通して、中学校数学を学ぶたのしさを追究します。			
<10月20日(火) 17:30~19:00>			
第3講：「たのしく学ぼう！算数・数学③高等学校数学編」			
日常生活など皆さんの身近に潜んでいる高等学校数学の内容について体験的に学ぶことを通して、高等学校数学を学ぶたのしさを追究します。			
その他	筆記用具を持参してください。		
テキスト	なし		
参考文献	適宜、授業内で紹介します。		
関連科目	数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B, 数学活用 (※これらの科目を学習していなくても取り組める内容です)		
開講日時	10/6(火)	10/13(火)	10/20(火)
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス 電話：018-889-3191 (秋田大学 総合学務課 平日9:00~17:00) 科目担当者E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[4] 覗いてみようメディカルスタッフの研究	科目 担当者	(学部・学科) 医学部 保健学科 (職・氏名) 助教 石井 奈智子 (計3名)
授業概要	医療職の中でメディカルスタッフと言われている看護職、理学療法士、作業療法士はどのような研究をしているか知っていますか。今まで知らなかった学問の世界が広がる内容です。		
授業方法 と留意点	研究と言っても堅苦しい講義ではありませんので是非参加してください。看護職、理学療法士、作業療法士への理解が深まるお話です。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数25名】 先着順で募集を締め切ります</b>			
< 11月 4日 (水) 17:30~19:00 >			
第1講: 「妊娠中の歯周病とその影響 看護職者ができる支援とは？」 看護学専攻 講師 成田 好美			
< 11月 11日 (水) 17:30~19:00 >			
第2講: 「人づきあいの苦手を減らそう！ リハビリテーションに活かすコミュニケーション技法」 作業療法学専攻 助教 石井 奈智子			
< 11月 18日 (水) 17:30~19:00 >			
第3講: 「身体の動きを測定しよう！ー理学療法士の視点を紹介しますー」 理学療法学専攻 助教 照井 佳乃			
その他	なし		
テキスト	なし		
参考文献	なし		
関連科目	なし		
開講日時	11/4 (水)	11/11 (水)	11/18 (水)
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス 電話: 018-889-3191 (秋田大学 総合学務課 平日9:00~17:00) 科目担当者E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名		秋田大学	
科目名 (サブタイトル)	〔5〕身近な有機化学・有機化合物			科目 担当者	〈学部・学科〉理工学部 生命科学科 〈職・氏名〉教授 藤原 憲秀
授業概要	有機化合物は、天然物や人工物など由来を問わず、私たちの生活に密着しています。この授業では、身近な有機化合物を題材として、有機化学と関連する生物現象や物理現象を分かり易く解説します。				
授業方法 と留意点	プロジェクターを用いた解説の他、有機化合物の分子模型の組み立てや、簡単な演示実験を予定しています。				
<b>授 業 計 画</b>					
<b>【募集定員人数48名】先着順で募集を締め切ります</b>					
<10月31日(土) 10:30~12:00>					
第1講: 「有機化合物のかたちの調べ方」					
<10月31日(土) 12:50~14:20>					
第2講: 「スパイスの色と香りと刺激の有機化合物」					
<10月31日(土) 14:30~16:00>					
第3講: 「色調の変化する人工色素の有機化学」					
<11月 1日(日) 12:50~14:20>					
第4講: 「健康と天然有機化合物」					
<11月 1日(日) 14:30~16:00>					
第5講: 「自然毒の有機化学」					
その他	10/31(土)は昼食を持参ください。(昼食時間 12:00~12:50)				
テキスト	講義の各回資料を配布します。				
参考文献	配布資料に掲載します。				
関連科目	化学基礎・化学 家庭(食品)				
開講日時	10/31(土)			11/1(日)	
	10:30~12:00	12:50~14:20	14:30~16:00	12:50~14:20	14:30~16:00
会場	秋田大学 手形キャンパス 理工学部 総合研究棟(理工学部6号館) 2階				
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス 電話: 018-889-3191 (秋田大学 総合学務課 平日9:00~17:00) 科目担当者E-mail: fjwkn@gipc.akita-u.ac.jp (緊急の場合は当日も可)				

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		<b>大学等名</b>		秋田大学	
<b>科目名</b> (サブタイトル)	<b>[6] 高校生のための応用化学</b> (化学と社会の接点を知ろう)		<b>科目</b>	〈学部・学科〉理工学部 物質科学科	
		<b>担当者</b>	〈職・氏名〉教授 加藤 純雄 (計5名)		
<b>授業概要</b>	応用化学は、化学の知識や研究成果を新しい物質や技術の開発に利用する学問であり、人間社会を豊かにする重要な役割を担っています。応用化学が社会のどのような場面で活躍しているのかを、先端的な研究例も取り上げて楽しく学びます。				
<b>授業方法と留意点</b>	本年度はZoomを利用し、スライドを用いた遠隔講義形式で行います。受講者の理解を確認しながら、応用化学の魅力を易しく楽しく解説したいと思います。				
<b>授 業 計 画</b>					
< 10月24日 (土) 13:30~15:00 >					
第1講: 「化学の眼で見る液体燃料と環境側面 ~二酸化炭素とSDGs~」 准教授 小笠原 正剛					
秋田で産出される「石油」を起点として、液体燃料について概説します。また、炭素循環と二酸化炭素、SDGsとの関連を紹介します。					
< 10月24日 (土) 15:15~16:45 >					
第2講: 「クリーンエネルギー」 教授 村上 賢治					
石炭やバイオマスなどの固体燃料からエネルギーを化学の力で上手く取り出すことがクリーン化に繋がることを解説します。					
< 10月25日 (日) 9:30~11:00 >					
第3講: 「身の回りで活躍する有機材料」 教授 寺境 光俊					
我々の日常生活では様々な有機材料が使われています。これら有機材料の特徴や機能について、分子レベルから解説します。					
< 10月25日 (日) 11:10~12:40 >					
第4講: 「ビーカーや試験管の中の化学反応はどのようにして実用化されるのか?」 准教授 高橋 博					
化学反応を利用して物質を生産する場合、どのようにして実用化されていくのでしょうか。高校の教科書には記載が少ない、化学の裾野の広さを知る良い機会となるでしょう。					
< 10月25日 (日) 13:20~14:50 >					
第5講: 「環境浄化に役立つ無機材料」 教授 加藤 純雄					
社会を豊かにする技術の発展とともに問題となる、大気や水の汚染を防止し、浄化に役立つ無機物質、技術を化学の視点から解説します。					
<b>その他</b>					
<b>テキスト</b>	講義内容をまとめたプリント教材を配付します。(ID・パスワード送付時)				
<b>参考文献</b>	授業の中で紹介します。				
<b>関連科目</b>	化学				
<b>開講日時</b>	10/24 (土)		10/25 (日)		
	13:30~15:00	15:15~16:45	9:30~11:00	11:10~12:40	13:20~14:50
<b>会場</b>	Zoomによる遠隔授業				
<b>欠席連絡先</b>	秋田大学 手形キャンパス 電話: 018-889-3191 (秋田大学 総合学務課 平日9:00~17:00) 科目担当者E-mail: katos@gipc.akita-u.ac.jp (緊急の場合は当日も可)				

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		<b>大学等名</b>	秋田大学
<b>科目名</b> (サブタイトル)	<b>[7] 再生可能エネルギー入門</b> (基礎知識から秋田の最新動向まで)	<b>科目担当者</b>	(学部・学科) 理工学部 数理・電気電子情報学科 (職・氏名) 教授 熊谷 誠治
<b>授業概要</b> エネルギーと環境に関する社会情勢と技術は、刻々と変化しています。本授業では、再生可能エネルギーに関する基礎知識を身に付けます。さらに、世界的動向から地元秋田での取り組みまで、最新情報を提供します。			
<b>授業方法と留意点</b>	パワーポイントとプリントを用いて授業を進めます。物理と化学の履修は必須ではありません。再生可能エネルギーに興味があれば十分に理解できる内容です。		
<b>授 業 計 画</b>			
< 11月 8日 (日) 15:00~16:30 >			
第1講: 「日本と世界のエネルギー情勢と再生可能エネルギーとは」			
日本および世界のエネルギー情勢, 再生可能エネルギーの種類や特徴について学びます。さらに, 個別の再生可能エネルギーの原理や特性について学びます。洋上風力発電や秋田に豊富に存在する地熱について説明します。			
< 11月 15日 (日) 15:00~16:30 >			
第2講: 「蓄電技術, バイオマスの利用とカーボンニュートラル」			
再生可能エネルギーの有効利用と助けるリチウムイオン電池などの蓄電技術を説明します。また, バイオマスとその特徴であるカーボンニュートラルについて学びます。秋田での取り組みについても紹介します。			
<b>その他</b>			
<b>テキスト</b>	講義内容をまとめたプリント教材を配付します。(ID・パスワード送付時)		
<b>参考文献</b>			
<b>関連科目</b>	物理, 物理基礎, 化学, 化学基礎		
<b>開講日時</b>	11/8 (日)		11/15 (日)
	15:00~16:30		
<b>会場</b>	Zoomによる遠隔授業		
<b>欠席連絡先</b>	秋田大学 手形キャンパス		
	電話: 018-889-3191 (秋田大学 総合学務課 平日9:00~17:00)		
	科目担当者E-mail: kumagai@gipc.akita-u.ac.jp(緊急の場合は当日も可)		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	〔8〕 高校生のための最新人間情報学 (AIからVRまで)	科目 担当者	〈学部・学科〉理工学部 数理・電気電子情報学科 〈職・氏名〉教授 有川 正俊 他 (計3名)
授業概要	優れたサービスをつくるためには、人間に対する深い理解が必要です。ヒトに優しい人間情報分野の最新技術について紹介し、秋田に住む人々の暮らしを良くするためのアイデアと手段について一緒に考えたいと思います。		
授業方法 と留意点	スライドと配布プリントにより講義します。また、人間情報分野の最新技術を体験できるデモンストラレーションも用意しています。		
<b>授 業 計 画</b>			
<p><b>【募集定員人数18名】先着順で募集を締め切ります</b></p> <p>&lt;10月25日(日) 11:10~12:40&gt; 教授 有川 正俊</p> <p>第1講：「空間情報学で活かす秋田の風土」</p> <p>GPSの精度は向上し、スマートフォンの進化は今後も加速していきます。「外国人や道に迷いやすい人でも秋田の魅力を満喫できる」そんな未来をつくる技術について講義します。</p> <p>&lt;10月25日(日) 13:20~14:50&gt; 教授 水戸部 一孝</p> <p>第2講：「バーチャルリアリティと5Gで拓く秋田の未来」</p> <p>コンピュータの進化に伴いVRを身近に楽しめる時代になりました。「秋田に住みながら東京やニューヨークで琴を教える？」そんな未来をつくる技術について講義します。</p> <p>&lt;10月25日(日) 15:00~16:30&gt; 教授 景山 陽一</p> <p>第3講：「画像・センシングで見守る秋田の暮らし」</p> <p>Society5.0は秋田の人々の暮らしをどのように変えるでしょうか？「家族のように体調や気持ちの変化に気付いてくれる」そんな未来を創る技術について講義します。</p>			
その他	昼食を持参ください。(昼食時間 12:40~13:20)		
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配付します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	情報, 生物, 数学, 物理, 国語		
開講日時	10/25 (日)		
	11:10~12:40	13:20~14:50	15:00~16:30
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス 電話：018-889-3191 (秋田大学 総合学務課 平日9:00~17:00) 科目担当者E-mail: arikawa@ie.akita-u.ac.jp (緊急の場合は当日も可)		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[9] 超高齢社会への貢献する医用システム工学 (機械工学の新しい領域)	科目 担当者	(学部・学科) 理工学部 システムデザイン工学科 (職・氏名) 教授 長縄 明大 他 (計6名)
授業概要	機械工学は幅広い分野に貢献しており、超高齢社会では医療・介護に加え、健康維持・向上のヘルスを支えていく必要があります。本講義では、秋田大学機械工学コースの6人の教員が取り組む最新の研究・技術を紹介いたします。		
授業方法 と留意点	スライドを用いてわかりやすく概説します。講義終了後に各研究室を回るツアーを開催します。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数25名】先着順で募集を締め切ります</b>			
<b>第1講：高齢者をサポートする機械</b>			
<10月11日(日) 9:30~10:15> 教授 巖見 武裕			
前半：「生体運動のセンシングとロボット支援機器の開発」 超高齢社会における高齢者や障害者をサポートする歩行訓練ロボット、卓上型上肢リハビリロボット、座位バランス装置などに使われている技術について概説します。			
<10月11日(日) 10:15~11:00> 准教授 佐々木 芳宏			
後半：「空気圧を活用した立ち上がり補助装置の開発」 空気圧は圧縮性流体であるためクッションのような柔らかさを実現することができ、これを活用した人工筋肉や立ち上がり補助装置など空気圧アクチュエータの可能性について概説します。			
<b>第2講：低侵襲治療に貢献する機械工学</b>			
<10月11日(日) 11:10~11:55> 准教授 山本 良之			
前半：「磁石とナノテクノロジーによる低侵襲治療・診断応用」 ヒトの体をできるだけ切らないで治療する低侵襲治療において、生体適合性がよく磁気を帯びた酸化鉄ナノ粒子を利用した診断や効果的な治療の可能性について概説します。			
<10月11日(日) 11:55~12:40> 准教授 高橋 護			
後半：「ダイヤモンド皮膜合成技術の医療分野への応用」 治療に使われている生体材料には、人工関節やインプラントなどがありますが、これらは高い生体適合性が求められ、新技術として注目されているダイヤモンド皮膜の可能性について概説します。			
<b>第3講：医療・ヘルスケア分野におけるAI活用</b>			
<10月11日(日) 13:20~14:05> 講師 関 健史			
前半：「AIを活用したレーザー温熱療法の可能性」 腫瘍組織に集まる性質を持った光感受性物質に、レーザーを照射することにより治療を行う光線力学的治療において、AIを活用して照射部の温度を管理する技術について概説します。			
<10月11日(日) 14:05~14:50> 教授 長縄 明大			
後半：「ヘルスケアに貢献するウェアラブルデバイス」 日常生活における生体情報を低拘束で測定できるウェアラブルデバイスの最前線と、取得したビッグデータを解析するAIについて概説します。			
その他	昼食を持参ください。(昼食時間 12:40~13:20) 15:00~ 4~5人のグループに分かれ、各研究室を見学するツアーを開催します。		
テキスト			
参考文献			
関連科目			
開講日時	10/11(日)		
	9:30~11:00	11:10~12:40	13:20~14:50
会場	秋田大学 手形キャンパス 理工学部6号館1階 多目的講義室		
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス 電話：018-889-3191 (秋田大学 総合学務課 平日9:00~17:00) 科目担当者E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		<b>大学等名</b>		秋田大学	
<b>科目名</b> (タイトル)	[10] 科学のための英語 (Your English for Science)		<b>科目</b>	〈学部・学科〉大学院理工学研究科 附属クロスオーバー教育創成センター	
		<b>担当者</b>	〈職・氏名〉准教授 ウォターズ・エイモン		
<b>授業概要</b> 高校生向けの科学の関わる英語のコミュニケーションの仕方について学びます。英語の科学トピックを使用し、会話や文章作成を行い、最後回で短いプレゼンテーションを行います。					
<b>授業方法と留意点</b>	You must speak and write in English in class. Do not worry about making mistakes in English, we learn from our mistakes.				
<b>授 業 計 画</b>					
< 10月14日 (水) 17:30~19:00 >					
第1講: 「Your English and Science」 We look at JHS and HS English, famous experiments, and try to describe a famous experiment in English.					
< 10月21日 (水) 17:30~19:00 >					
第2講: 「Basic Science Rules in English」 There are some basic rules for science: the scientific method. We look at this, and invent our own experiments to show it.					
< 10月28日 (水) 17:30~19:00 >					
第3講: 「Showing Science」 Sometimes we have to show things in science: graphs and tables. We also have to talk about them. We will learn how to do that in this class.					
< 11月 4日 (水) 17:30~19:00 >					
第4講: 「Science Project Start」 We will look at an article about a new sustainable science discovery.					
< 11月11日 (水) 17:30~19:00 >					
第5講: 「Science Project Presentation」 We will share our ideas about the new sustainable science discovery.					
<b>その他</b>	この授業は主に英語で行われます。				
<b>テキスト</b>	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配布します。				
<b>参考文献</b>	なし				
<b>関連科目</b>	英語・科学				
<b>開講日時</b>	10/14 (水)	10/21 (水)	10/28 (水)	11/4 (水)	11/11 (水)
	17:00~19:00				
<b>会場</b>	Zoomによる遠隔授業				
<b>欠席連絡先</b>	秋田大学 手形キャンパス				
	電話: 018-889-3191 (秋田大学 総合学務課 平日9:00~17:00)				
	科目担当者E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp				

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		<b>大学等名</b>	秋田大学
<b>科目名</b> (サブタイトル)	[11] 化学の目で最新のニュース解説 (化学の視点でニュースを理解しよう)	<b>科目担当者</b>	〈学部・学科〉理工学部 物質科学科 (職・氏名) 教授 寺境 光俊 他 (計3名)
<b>授業概要</b> 化学は、縁の下の力持ちとして、現代社会の様々な分野で活用されています。本授業では最近ニュースで話題になっているトピックスを取り上げ、化学の視点から原理や問題点などを分かり易く解説します。			
<b>授業方法と留意点</b>	本年度はZoomを利用し、スライドを用いた遠隔講義形式（ライブ型授業）で行います。受講者の理解を確認しながら、応用化学の魅力を易しく楽しく解説したいと思います。		
<b>授 業 計 画</b>			
＜ 1 1 月 2 9 日（日） 9：30～11：00＞			
第1講：「マイクロプラスチック問題とは？」			
教授 寺境 光俊			
プラスチック材料は我々の社会で欠かすことの出来ない素材となっていますが、最近ではマイクロプラスチック問題という新たな課題に直面しています。高分子化学の観点から分子構造と特性について分かり易く解説します。			
＜ 1 1 月 2 9 日（日） 11：10～12：40＞			
第2講：「リチウムイオン電池の仕組みと魅力を理解しよう」			
准教授 大川 浩一			
今や生活の必需品であるスマートフォン。その電力供給源は、2019年のノーベル化学賞で注目された「リチウムイオン電池」です。その仕組みや魅力について、電気化学の視点から分かり易く解説します。			
＜ 1 1 月 2 9 日（日） 13：20～14：50＞			
第3講：「生化学の視点からウイルスについて学ぶ」			
助教 横田 早希			
ウイルスってなに？新型コロナウイルスとはどのようなウイルス？PCRとは？毎日ニュースで耳にするワードを生化学の視点から分かり易く解説します。			
<b>その他</b>			
<b>テキスト</b>	講義内容をまとめたプリント教材を配付します。（ID・パスワード送付時）		
<b>参考文献</b>	授業の中で紹介します。		
<b>関連科目</b>	化学		
<b>開講日時</b>	1 1 / 2 9（日）		
	9:30～11:00	11:10～12:40	13:20～14:50
<b>会場</b>	Zoomによる遠隔授業		
<b>欠席連絡先</b>	秋田大学 手形キャンパス 電話：018-889-3191（秋田大学 総合学務課 平日9：00～17：00） 科目担当者E-mail： mjikei@gipc.akita-u.ac.jp（緊急の場合は当日も可）		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名		秋田大学	
科目名 (サブタイトル)	[12] 教師ミニミニ体験 (教職への展望をひらく)		科目 担当者	〈学部・学科〉 高大接続センター (職・氏名) 教授 伊藤 成年 他 (計4名)	
<p><b>授業概要</b> 教職を目指す高校生のための講座です。大学での円滑な実習につなげるために、学習指導案の読み取りや学習指導案(略案)の作成、教育専門監の授業(ビデオ)を教材に授業づくりの要点等について学びます。また、秋田県教育の特色や教師に必要とされる資質・能力について講義やグループ協議を通して学び、教職を志す生徒のキャリア発達を促します。</p>					
<p><b>授業方法と留意点</b></p>					
<p><b>授 業 計 画</b></p>					
<p><b>【募集定員人数24名】先着順で募集を締め切ります</b></p>					
<p>&lt;10月11日(日) 10:30~12:00&gt; 教授 伊藤 成年</p>					
<p>第1講: 「教職の魅力とその世界」 自らの教職体験をもとに、児童生徒と教師との関わりによって紡ぎ出される教職の真の魅力について伝えるとともに、教職の世界について正しい理解が図られるようにします。また、受講者が、それぞれどのような教師像を抱いているのかについてグループで語り合い、互いに教職を目指す心を見つめ直し、考えを深めることができるようにします。 (公立小学校採用20代教員による講話45分程度を含む)</p>					
<p>&lt;10月11日(日) 13:00~14:30&gt; 准教授 三浦 亨</p>					
<p>第2講: 「学習指導案の読み取りと学習指導案(略案)の作成」 学校の日課はほぼ授業で占められています。授業は、児童生徒にどのような力を身に付けさせるのか、ねらいや手立て・評価等の考え方が事前にしっかりと設計されている必要があります。教職への入門として、学習指導案の様式、見方、作成等について学びます。</p>					
<p>&lt;10月17日(土) 10:30~12:00&gt; 教授 伊藤 成年</p>					
<p>第3講: 「教育専門監による授業(ビデオ)の視聴を通して教師の表現力や題材設定力を学ぶ」 授業力に秀でた教育専門監の授業場面のビデオ視聴を通して、児童生徒を引きつける教師の態度・振る舞い等の表現力や「めあて・学習課題」を設定するまでの学習意欲の引き出し方等について学びます。 (公立中学校採用20代教員による講話45分程度を含む)</p>					
<p>&lt;10月17日(土) 13:00~14:30&gt; 教授 伊藤 成年</p>					
<p>第4講: 「児童生徒の興味・関心を引きつける授業の在り方について」 教育専門監の授業ビデオの視聴やサンプルの学習指導案を基に、児童生徒の興味・関心を引きつける授業(特に導入部分)の在り方及び演じ方について協議し練り上げグループ発表します。(グループ協議・演習)</p>					
<p>&lt;10月24日(土) 13:00~14:30&gt; 教授 伊藤 成年</p>					
<p>第5講: 「秋田県教育の特色(全国学力・学習状況調査結果等の分析から)及び教師に必要とされる資質・能力について」 全国学力・学習状況調査において、毎回全国トップレベルの秋田県児童生徒の学力や質問紙にみる生活や家庭学習等の実態を把握します。また、このような結果が、教員の熱心な研修姿勢や地域社会の協力、県・市町村教育委員会の特色ある行政施策によってもたらされていることについて学びます。すぐれた秋田県教育の実状について幅広い知見を得ることができます。さらに、教師に必要とされる資質・能力とは何かについて考えます。</p>					
その他	10/11(日)、10/17(土)は昼食を持参ください。(昼食時間 12:00~13:00)				
テキスト	なし(講義資料を配布する)。				
参考文献	なし。				
関連科目					
開講日時	10/11(日)		10/17(土)		10/24(土)
	10:30~12:00	13:00~14:30	10:30~12:00	13:00~14:30	13:00~14:30
会場教室	カレッジプラザ				
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス 電話: 018-889-3191 (秋田大学 総合学務課 平日9:00~17:00) E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp				

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学		
科目名 (サブタイトル)	[13] 社会を支える情報通信技術 (音、IoTネットワーク、人工知能、画像処理)	科目 担当者	(学部・学科) システム科学技術学部 知能メカトロニクス学科 (職・氏名) 教授 礒田 陽次 他(計5名)		
授業概要	私たちの社会を支える情報通信技術について分かりやすく説明します。特に、身の回りの音楽や画像を扱う技術、賢いコンピューターを作る人工知能、人やモノをネットワークにつなぐ技術について紹介します。				
授業方法 と留意点	5つのテーマを別々の教員が講義します。				
<b>授 業 計 画</b>					
<p><b>【募集定員人数24名】先着順で募集を締め切ります</b></p> <p>&lt; 11月12日(木) 17:30~19:00 &gt;</p> <p>第1講: 「社会を支える情報通信技術」 教授 礒田 陽次                  情報のやり取りは、現在では企業だけでなく、我々個人も行っており、社会のインフラの一つとなっています。ここでは、情報通信の概要と基礎技術について分かりやすく解説します。</p> <p>&lt; 11月19日(木) 17:30~19:00 &gt;</p> <p>第2講: 「人工知能(AI)と社会課題の解決」 教授 堂坂 浩二                  人工知能(AI)技術によって何ができて何ができないのか、AIは私たちの社会や地域の課題の解決にどのように役に立つのかについて、事例とともに紹介します。</p> <p>&lt; 12月 3日(木) 17:30~19:00 &gt;</p> <p>第3講: 「IoTネットワーク」 教授 飯田 一朗                  センサー技術と情報分析技術の進歩により、ものや人の動作がネットワークで直接把握できる環境が構築されつつあります。このようなIoTネットワークの概要と現状を将来動向や問題点を含めて解説します。</p> <p>&lt; 12月10日(木) 17:30~19:00 &gt;</p> <p>第4講: 「音声圧縮技術について」 教授 西口 正之                  iPhoneやWalkmanなどの携帯音楽プレーヤーでは、音楽を圧縮してファイルサイズを小さくすることで長時間の音楽を録音できるようにしています。音質を損ねないで音楽を圧縮する技術を紹介します。</p> <p>&lt; 12月17日(木) 17:30~19:00 &gt;</p> <p>第5講: 「デジタル画像処理の基礎と応用について」 教授 陳 国躍                  画像処理は、身近な様々な分野で活用され、私たちの生活に欠かせない技術となっています。デジタル画像処理の基礎および画像認識とその応用について分かり易く解説します。</p>					
その他					
テキスト	講義内容をまとめたプリントを毎回配布します。				
参考文献	授業の中で紹介します。				
関連科目	数学、物理				
開講日時	11/12(木)	11/19(木)	12/3(木)	12/10(木)	12/17(木)
	17:30~19:00				
会場	カレッジプラザ				
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス 電話: 0184-27-2071 (平日9:00~17:00) E-mail: itoya@akita-pu.ac.jp				

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学	
科目名 (サブタイトル)	[14] AI・ロボット時代のメカトロニクス	科目 担当者	(学部・学科) システム科学技術学部 知能メカトロニクス学科 (職・氏名) 准教授 岡本 洋 他 (計4名)	
<b>授業概要</b> メカトロニクスは、古くより自動化・産業用ロボットなどと深く関係している。今、AIなどの新技術の台頭でメカトロニクスをめぐる環境も大きく変化している。これを4名の講師陣が様々な視点から講義する。				
授業方法 と留意点	オムニバス形式で行います。			
<b>授 業 計 画</b>				
< 1 1 月 1 3 日 (金) 17:30~19:00 > 第1講: 「AI・ロボットを支える無線通信技術」 准教授 戸花 照雄				
< 1 1 月 2 0 日 (金) 17:30~19:00 > 第2講: 「有機フォトンクスが拓く新しい光センシング」 准教授 本間 道則				
< 1 1 月 2 7 日 (金) 17:30~19:00 > 第3講: 「IoT時代のセキュリティと量子情報」 准教授 岡本 洋				
< 1 2 月 4 日 (金) 17:30~19:00 > 第4講: 「いのちを守るロボット技術」 准教授 齋藤 敬				
その他				
テキスト	なし			
参考文献	なし			
関連科目	物理、数学			
開講日時	1 1 / 1 3 (金)	1 1 / 2 0 (金)	1 1 / 2 7 (金)	1 2 / 4 (金)
	17:30~19:00			
会場	Zoomによる遠隔授業			
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス 電話: 0184-27-2071 (平日9:00~17:00) E-mail: itoya@akita-pu.ac.jp			

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

□従来型授業

■単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学			
科目名 (サブタイトル)	★ [15] C言語プログラミング (ちょっと先取り, 大学のプログラミング授業)	科目 担当者	(学部・学科) システム科学技術学部 情報工学科 (職・氏名) 准教授 廣田 千明 他 (計4)			
<b>授業概要</b> パソコンやスマートフォンで動くアプリケーションはプログラミング言語でプログラムされています。本 科目では代表的なプログラミング言語であるC言語を講義と実習により学習します。						
授業方法 と留意点	実習を交えながら授業を進めます。 本科目は, 秋田県立大学システム科学技術学部情報工学科必修科目「プログラミング I」の3回分 の授業に相当します。本科目受講生は希望すれば, 本科目を単位取得予約型授業に切り替え, 残り の12回の授業を受講することで単位を取得することが可能になります。 (※別 途高校生科目等履修生としての手続きが必要となります)					
<b>授 業 計 画</b>						
<b>【募集定員人数30名】先着順で募集を締め切ります</b> <10月 3日 (土) 13:30~15:00> 第1講: 「プログラミング入門 (1)」 <10月 3日 (土) 15:15~16:45> 第2講: 「プログラミング入門 (2)」 <10月11日 (日) 13:30~15:00> 第3講: 「C言語の基本的規則 (1)」 <10月11日 (日) 15:15~16:45> 第4講: 「C言語の基本的規則 (2)」 <10月17日 (土) 13:30~15:00> 第5講: 「簡単な計算・プリプロセッサ (1)」 <10月17日 (土) 15:15~16:45> 第6講: 「簡単な計算・プリプロセッサ (2)」						
その他	担当教員: 准教授・廣田千明 准教授・渡邊貫治 助教・橋浦康一郎 助教・伊東嗣功 <u>★単位の取得については初回の授業で詳しく説明します</u>					
テキスト	当日資料を配布します					
参考文献	「Cの絵本」, アンク著, 翔泳社					
関連科目	数学, 情報					
開講日時	10/3 (土)		10/11 (日)		10/17 (土)	
	13:30~15:00	15:15~16:45	13:30~15:00	15:15~16:45	13:30~15:00	15:15~16:45
会場	秋田県立大学 本荘キャンパス 受付及び授業会場: 学部棟 I 棟 GI417					
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス 電話: 0184-27-2071 (平日9:00~17:00) E-mail: itoya@akita-pu.ac.jp					

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学	
科目名 (#タイトル)	[16] コンピュータ、役に立ちます (プログラミング, インターネット, 音響, 人工知能)	科目 担当者	(学部・学科) システム科学技術学部 情報工学科 (職・氏名) 准教授 廣田 千明 他(計4)	
<b>授業概要</b> 私たちの身のまわりにある様々な問題を解決するためにコンピュータが利用されています。そこで本科目ではコンピュータを使って解決するために必要な基礎的思考方や様々な技術の活用法を学びます。				
授業方法 と留意点				
<b>授 業 計 画</b>				
<b>【募集定員人数26名】先着順で募集を締め切ります</b> <10月 6日(火) 17:30~19:00> 第1講: 「プログラミングを学ぼう」 准教授 廣田 千明 コンピュータを使いこなせるようになるためにプログラミングとはなにかを学びます。				
<10月13日(火) 17:30~19:00> 第2講: 「パケットの中身をみてみよう」 助教 寺田 裕樹 コンピュータを使ってデジタルデータをみてみます。				
<10月20日(火) 17:30~19:00> 第3講: 「音の仕組み, 音を作る(創る)には」 准教授 渡邊 貫治 音の物理的な側面, 感覚的な側面に基づくコンピュータによる音の合成の話です。				
<10月27日(火) 17:30~19:00> 第4講: 「生物から学ぶ人工知能」 助教 伊東 嗣功 生物学と人工知能の深い関係を紹介します。				
その他				
テキスト	当日資料を配布します			
参考文献	授業の中で紹介します			
関連科目	数学, 情報			
開講日時	10/6(火)	10/13(火)	10/20(火)	10/27(火)
	17:30~19:00			
会場	秋田県立大学 本荘キャンパス 受付: 共通施設棟1階 事務室 授業会場: 共通施設棟3階 K316			
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス 電話: 0184-27-2071 (平日9:00~17:00) E-mail: itoya@akita-pu.ac.jp			

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学
科目名 (#タイトル)	[17] コンピュータ、 もっと役に立ちます (プログラミング, VR, ロボット制御)	科目 担当者	(学部・学科) システム科学技術学部 情報工学科 (職・氏名) 助教 寺田 裕樹 他 (計3名)
授業概要 私たちの身のまわりにある様々な問題を解決するためにコンピュータが利用されています。そこで本科目ではコンピュータを使って問題を解決するための様々な技術の活用法を応用例と共に学びます。			
授業方法 と留意点			
<b>授 業 計 画</b>			
<p><b>【募集定員人数26名】先着順で募集を締め切ります</b></p> <p>&lt;11月10日(火) 17:30~19:00&gt;</p> <p>第1講: 「バーチャルな世界を創る」 助教 寺田 裕樹 コンピュータを使って現実と同じような世界を体験します。</p> <p>&lt;11月17日(火) 17:30~19:00&gt;</p> <p>第2講: 「プログラムを作ってみよう」 助教 橋浦 康一郎 ビジュアルプログラミングを用いて簡単にプログラムを作る方法を紹介します。</p> <p>&lt;11月24日(火) 17:30~19:00&gt;</p> <p>第3講: 「タブレット端末を使ったロボット制御」 准教授 松下 慎也 タブレット端末を使って「LEGO MINDSTORMS」と呼ばれるロボットの動きを制御します。</p>			
その他			
テキスト	当日資料を配布します		
参考文献	授業の中で紹介します		
関連科目	数学, 情報		
開講日時	11/10(火)	11/17(火)	11/24(火)
	17:30~19:00		
会場	秋田県立大学 本荘キャンパス 受付: 共通施設棟1階 事務室 授業会場: 共通施設棟3階 K316		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス 電話: 0184-27-2071 (平日9:00~17:00) E-mail: itoya@akita-pu.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学	
科目名 (サブタイトル)	[18] 経営の中の数学 (高等学校で学んでいる数学はとても役に立っています)	科目 担当者	(学部・学科) システム科学技術学部 経営システム工学科 (職・氏名) 准教授 星野 満博	
授業概要	高等学校で学ぶ数学は、様々なところで活用され、役に立っています。経営科学・経営工学・応用数学の内容を身近な例をもとに紹介します。最適化・意思決定と数学の使われ方が主なテーマです。数学が得意な人も、そうでない人も勉強できます。			
授業方法 と留意点	経営科学および応用数学の内容で演習形式（参加型）の授業です。数学がどのように使われているのか、例題を用いて学びます。大学での高度な数学や経営工学・経営科学についても紹介します。			
<b>授 業 計 画</b>				
<b>【募集定員人数24名】 先着順で募集を締切ります</b> <10月 4日（日） 9:30～11:00>				
第1講：「不確実性を伴う数理意思決定」（高校関連項目→確率） 現代社会において、不確実性と意思決定は非常に重要なキーワードです。例として買い物を考えます。何かを購入するときに、同じものであれば、できるだけ安く買いたい、その際、買うタイミングというのも一つの重要なファクターになります。今は買い時なのか、それとも今回パスして次回に買うべきか？このような未来の不確実な状況下での意思決定を、数学を使って考えてみましょう。この問題は高校数学とも関連していて、高度な数学が背景にあります。				
<10月 4日（日） 11:10～12:40>				
第2講：「在庫管理の数理」（高校関連項目→関数の最大最小，微分）				
<10月 4日（日） 13:20～14:50>				
第3講：「スケジューリング問題」（高校関連項目→数列，関数の最大最小）				
その他	※ 文系理系問わず、基本的な内容から解説します。 昼食を持参ください。（昼食時間 12:40～13:20）			
テキスト	なし			
参考文献	なし			
関連科目	数学、情報			
開講日時	10/4（日）			
	9:30～11:00	11:10～12:40	13:20～14:50	
会場教室	カレッジプラザ			
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス 電話：0184-27-2071（平日9:00～17:00）E-mail: itoya@akita-pu.ac.jp			

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学
科目名 (サブタイトル)	[19] 文学としての英国演劇基礎 (シェイクスピアを中心に)	科目 担当者	(学部・学科) 総合科学教育研究センター (職・氏名) 准教授 山崎 健一
授業概要 エリザベス朝時代の演劇について、様々な観点から学ぶ。			
授業方法 と留意点	英文を訳すことを主な内容とはしないが、辞書をひくことを苦にしない方が望ましい。演劇や文化の背景、あるいは文学研究のいくつかの手法について学ぶ。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数24名】先着順で募集を締め切ります</b>			
＜11月 1日（日） 9：30～11：00＞			
第1講：「エリザベス朝演劇の背景と演劇研究法」			
エリザベス朝演劇研究に必要な知識について扱う。劇場形態、作家の立場、シェイクスピアの特異性など。また、文学研究に用いられるいくつかの理論や手法についても扱う。			
＜11月15日（日） 9：30～11：00＞			
第2講：「シェイクスピアの作品を読む」			
シェイクスピアの代表作や後期の作品を、日本語訳を併用しながら読む。シェイクスピアだけが評価される理由、作劇法の変化などに注目する。			
その他			
テキスト	講師が用意		
参考文献	なし		
関連科目	英語		
開講日時	11/1（日）		11/15（日）
	9：30～11：00		
会場	秋田県立大学 本荘キャンパス 受付及び授業会場：共通施設棟3階 K325		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス 電話：0184-27-2071（平日9：00～17：00）E-mail: itoya@akita-pu.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学
科目名 (サブタイトル)	[20] 微積と物理の密接な関係 (高校数学の正しい使い方)	科目 担当者	(学部・学科) 総合科学教育研究センター (職・氏名) 准教授 宮本 雲平
<b>授業概要</b> 物理は公式を覚えてその使い方をマスターする科目だと思いませんか？実は、微積を使えばどんな問題も公式なしで解くことができます。受験に役立ち、物理が美しいと実感できる授業です。			
授業方法 と留意点	プリントを配布し、それに沿って授業を進めます。「数学Ⅲ」（微分・積分）と力学をある程度学習したことがある人に推奨します。例えば、指数関数、対数関数、三角関数の微分や積分が登場します。		
<b>授 業 計 画</b>			
< 10月13日（火）17:30～19:00 > 第1講：「微分方程式入門」 ニュートンの運動方程式は、数学的には《微分方程式》と呼ばれるものです。まずは、微分方程式とは何かということから初め、簡単な微分方程式の解き方を学びます。			
< 10月20日（火）17:30～19:00 > 第2講：「微分方程式としての運動方程式」 《等加速度運動》《速度に比例する摩擦がある運動》《単振り子》という3つの簡単な運動について、運動方程式を立て、それを微分方程式として解いていきます。			
< 10月27日（火）17:30～19:00 > 第3講：「種々の保存則の導出」 力学には、運動方程式以外にも《運動量と力積の関係》《運動エネルギーと仕事の関係》《運動量・力学的エネルギーの保存則》など、様々な公式があるように見えます。しかし、それらは単に運動方程式を積分したものであることを学びます。			
その他			
テキスト	配布プリント（ID・パスワード送付時）		
参考文献	兵頭俊夫『考える力学』学術図書出版		
関連科目	数学、物理		
開講日時	10/13（火）	10/20（火）	10/27（火）
	17:30～19:00		
会場	Zoomによる遠隔授業		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス 電話：0184-27-2071（平日9:00～17:00）E-mail: itoya@akita-pu.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学	
科目名 (サブタイトル)	[21] 異文化コミュニケーション入門	科目 担当者	〈学部・学科〉 総合科学教育研究センター (職・氏名) 助教 タッカー・ジェイソンエドワード	
授業概要	All people on earth have culture. All cultures are equal in that they fulfill basic needs for the people that belong to them, but all cultures are different and so it is good to study and understand concepts to be better people and more culturally Aware. (人は誰でも文化を持っている。文化は、その所属グループに基本的な役割を果たすものであり、様々な種類がある。本講座は文化について理解を深めることを目指す。)			
授業方法 と留意点	Bring an electronic dictionary, and a notebook. Speaking and participation in Activities will be mainly in English and some Japanese. (電子辞書とノート持参すること。授業は主に英語だが補助的に日本語も使用する。)			
<b>授 業 計 画</b>				
<b>【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります</b>				
<10月 8日(木) 17:30~19:00>				
第1講: 「What Does “culture” Mean?」 Creating a definition of culture that is easily understandable by looking at the basics: material culture (objects) and non-material (behaviors, language, customs and traditions). (「〈文化〉とは何か?」文化の定義を物質文化、非物質文化から考える。)				
<10月22日(木) 17:30~19:00>				
第2講: 「Cultural Concepts for Acceptable Behavior」 Understand that different cultures have different concepts on what is good and bad behavior Based on the concepts of “Norms, Mores and Folkways”. (「文化的に許容されるふるまい」規範、慣習、習俗から考える。)				
<10月29日(木) 17:30~19:00>				
第3講: 「Cultural Perspectives of Time」 Most cultures fall into certain categories on how they determine time. Understanding the difference between “Monochronic” and “Polychronic” time. (「文化的な時間の概念」 “ポリクロニック” と “モノクロニック” とは何かを考える。)				
<11月12日(木) 17:30~19:00>				
第4講: 「Cultural Concepts of Touch and Space.」 All cultures have rules for what is acceptable physical contact with other people and what is Considered enough “space” (the area between people). (「身体的な接触と対人距離」全ての文化には、対人距離のルールがある。対人 “スペース” について考える。)				
その他	持ち物: 電子辞書、ノート			
テキスト	ワークシートを配布する予定。			
参考文献	無し			
関連科目	人類学, 社会学, 英語			
開講日時	10/8 (木)	10/22 (木)	10/29 (木)	11/12 (木)
	17:30~19:00			
会場	カレッジプラザ			
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス 電話: 018-872-1527 (平日9:00~17:00) E-mail: ogiwaram@akita-pu.ac.jp			

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学		
科目名 (サブタイトル)	[22] バイオテクノロジーへの招待 (動物・植物・微生物・食品醸造の科学)	科目 担当者	(学部・学科) 生物資源科学部 応用生物科学科 (職・氏名) 准教授 村口 元 他 (計5名)		
授業概要	高校で学ぶ化学や生物の知識がどのように活用されて私たちの生活に役立つものになって行くのかを、伝統的な手法から最新のバイオテクノロジーまで幅広い研究方法を交えながら、分かりやすく専門家が解説します。				
授業方法 と留意点	授業はオムニバス形式で行います。 Zoomを使ったり、オンデマンド方式で、遠隔講義を行います。				
<b>授 業 計 画</b>					
< 1 1 月 7 日 (土) 13:30~15:00 > 第1講: 「 <b>応用生物科学科の研究紹介</b> 」 <p style="text-align: right;">准教授 村口 元</p> 本学科の構成と、学科で行われている研究を紹介します(第2講以降の研究紹介は除く)。					
< 1 1 月 1 4 日 (土) 13:30~15:00 > 第2講: 「 <b>バイオイメージング: ミクロとナノの世界を観る</b> 」 <p style="text-align: right;">准教授 尾崎 紀昭</p> 生物や生体分子を直接観察できる最新の顕微鏡技術について紹介します。					
< 1 1 月 2 1 日 (土) 13:30~15:00 > 第3講: 「 <b>食品の品質と美味しさの科学</b> 」 <p style="text-align: right;">准教授 張 函</p> 食品の品質評価の重要性および食べ物の美味しさに関わる要因について紹介します。					
< 1 1 月 2 8 日 (土) 13:30~15:00 > 第4講: 「 <b>生物の発生と疾病に関わる遺伝子について</b> 」 <p style="text-align: right;">助教 岩下 淳</p> 脊椎動物の初期発生や再生、疾病に関わる遺伝子の情報伝達について紹介します。					
< 1 2 月 5 日 (土) 13:30~15:00 > 第5講: 「 <b>D-アミノ酸のバイオケミストリー</b> 」 <p style="text-align: right;">助教 牟田口 祐太</p> 医療・美容・食品業界で近年注目されているD-アミノ酸。その基本と最新研究を紹介します。					
その他					
テキスト	配布プリント (ID・パスワード送付時)				
参考文献					
関連科目	化学、生物				
開講日時	1 1 / 7 (土)	1 1 / 1 4 (土)	1 1 / 2 1 (土)	1 1 / 2 8 (土)	1 2 / 5 (土)
	13:30~15:00				
会場	Zoomによる遠隔授業				
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス 電話: 018-872-1527 (平日9:00~17:00) E-mail: ogiwaram@akita-pu.ac.jp				

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学			
科目名 (サブタイトル)	[23] 生物の不思議な世界 (生物の秘密をのぞいてみよう)	科目 担当者	(学部・学科) 生物資源科学部 生物生産科学科 (職・氏名) 准教授 阿部 誠 他 (計5名)			
<b>授業概要</b> 私たちが何気なく見ている生物には、驚くべき秘密（不思議な世界）が隠されています。しかしこのことは高校の教科書には詳しく書いていません。皆さんが知らない生物の不思議な世界を、ちょっとのぞいてみませんか。						
授業方法 と留意点	生物生産科学科教員によるオムニバス形式の授業です。各授業終了前に簡単な授業の感想レポートを書いていただきます。最終講（第6講）では授業全体の質疑応答に加えて、生物を理解する上で必要なことについて討論します。生物好き高校生はもちろん、理科全般に興味のある高校生の受講も期待しています。					
<b>授 業 計 画</b>						
<b>【募集定員人数18名】先着順で募集を締め切ります</b> < 11月29日（日）10:30~12:00 > 第1講：「澱粉と糖の可能性－酵素を利用した食品・医薬への応用－」 助教 鈴木 龍一郎 < 11月29日（日）13:00~14:30 > 第2講：「植物の一生と遺伝子プログラム」 准教授 渡辺 明夫 < 11月29日（日）14:45~16:15 > 第3講：「驚異の共生生物、地衣類」 准教授 原 光二郎 < 12月 6日（日）10:30~12:00 > 第4講：「植物細胞の限りない可能性」 准教授 佐藤 奈美子 < 12月 6日（日）13:00~14:30 > 第5講：「昆虫の謎」 准教授 阿部 誠 < 12月 6日（日）14:45~16:15 > 第6講：「生物の秘密を解明するのに必要なこと」 准教授 阿部 誠						
その他	昼食を持参ください。（昼食時間 12:00~13:00）					
テキスト	授業ごとに資料を配布します					
参考文献	授業で紹介します					
関連科目	生物資源科学、農学、生物生産科学、生物学（植物、遺伝、細胞、生理、酵素、澱粉、共生、地衣類、昆虫）					
開講日時	11/29（日）			12/6（日）		
	10:30~12:00	13:00~14:30	14:45~16:15	10:30~12:00	13:00~14:30	14:45~16:15
会場	カレッジプラザ					
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス 電話：018-872-1527（平日9:00~17:00）E-mail: ogiwarem@akita-pu.ac.jp					

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学	
科目名 (サブタイトル)	[24] 不思議な木 (来て・見て・作ろう)	科目 担当者	〈学部・学科〉木材高度加工研究所 (職・氏名)教授 山内 秀文 他(計4名)	
授業概要	大館の曲げわっぱ、どうやって作るか知っていますか？ この講義ではその原理を解説するとともに、その原理を利用して写真のようなペットボトルに入った木を実際に作ってみます。木の不思議な世界を体験しませんか？			
授業方法 と留意点	物を作るには、そうなる原理があります。その原理も各自に考えてもらい、学ぶだけでなく、実際に見て、体験して、作ることがこの授業の方針です。授業に積極的に参加して、自分で作った不思議な木を持ち帰って下さい。			
<b>授 業 計 画</b>				
<b>【募集定員人数10名】先着順で募集を締め切ります</b>				
<10月 4日(日) 9:30~11:00> 教授 山内 秀文				
第1講: 「木を曲げる」 曲げわっぱの原理を学び、実際に木を曲げてみる				
<10月 4日(日) 11:10~12:40> 准教授 渡辺 千明				
第2講: 「ペットボトルに入った木を作ろう」 第1講をもとに、どうしたらペットボトルに木を入れることができるか考え、実際にやってみる				
<10月 4日(日) 13:20~14:50> 准教授 野田 龍				
第3講: 「ねじれる木を作ろう」 木をねじる?そんなことができるの? ここではその原理を学び、実際に作ってみる				
<10月 4日(日) 15:00~16:30> 助教 工藤 佳世				
第4講: 「木の特性を変える」 木材のもつ性質に「狂う」、「腐る」、「燃える」があげられる。本講では、これらの性質を化学的手法により変えることを学び、多様な木材利用について考える				
その他	昼食を持参ください。(昼食時間 12:40~13:20)			
テキスト	当日、講義内容をまとめたプリント教材を配布します。			
参考文献	コンサイス木材百科(秋田文化出版)、森林科学シリーズ4「フォレスト・プロダクツ」(共立出版)			
関連科目	物理、化学、生物			
開講日時	10/4(日)			
	9:30~11:00	11:10~12:40	13:20~14:50	15:00~16:30
会場教室	カレッジプラザ			
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス 電話: 018-872-1527(平日9:00~17:00) E-mail: ogiwaram@akita-pu.ac.jp			

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	国際教養大学	
科目名 (サブタイトル)	[25] 国際教養学への招待 (Invitation to International Liberal Arts)	科目 担当者	〈学部・学科〉国際教養学部 〈職・氏名〉准教授 Attila Egri-Nagy (計4名)	
授業概要	世界を理解するには何が重要か、大学での「学問」がいかに楽しいか、国際感覚を身に付けるには高校時代に何を準備すべきか等を、国際教養大学の教員が各専門分野の研究結果を踏まえ、様々な角度から指導します。			
授業方法 と留意点	授業は、オンラインで英語で行われます。演習やワークショップ形式を中心に行うため、積極的に授業に参加することが期待されます。なお、受講者による事前準備は必要ありません。			
<b>授 業 計 画</b>				
<b>【募集定員人数30名】先着順で募集を締め切ります</b>				
<10月 3日 (土) 13:30~15:00>				
第1講: 「Games and Life - Mathematics Makes Things Easy」 准教授 アティラ・エグリナギ (Attila EGRI-NAGY)				
Good games, like Chess and Go, stayed with humanity for many centuries. They represent an aspect of the realworld, therefore training in games can improve other life skills, like planning and decision making. Artificial Intelligence also used games as stepping stones before attacking real world problems. Mathematics unravels the complexities of games, therefore by learning mathematics in a playful way we can develop cognitive tools for understanding our world better.				
This class will present game based puzzles and show how an abstract, mathematical representation makesthe puzzles straightforward to solve. We will demonstrate that Mathematics makes things easy.				
<10月10日 (土) 13:30~15:00>				
第2講: 「Fake News: What is it, and why is it important?」 准教授 フローラン・ドメナック (Florent DOMENACH)				
What is real news? Fake news? How to make the difference? What are the characteristics of fake news? We will examine the new prevalence of this phenomenon, and inquire how fake news are created, and how they spread. We will investigate different countries answers to protect the democratic process.				
<10月17日 (土) 13:30~15:00>				
第3講: 「Will the Japanese traditional culture die out?」 准教授 千葉 加恵子				
This class will examine the current issues of the Japanese traditional culture and think with students that what we should do to keep this tradition for the future. The students will learn some historical background of the traditional culture including Iemoto system and will discuss with the group that future possibility for the traditional culture.				
<10月24日 (日) 13:30~15:00>				
第4講: 「A first step to understanding mass media」 准教授 キ・ドゥク・ヒョン (Ki Deuk HYUN)				
We spend much time consuming mass media, like news, dramas, movies, advertisement, and others. Our continuous media use influences the way we think about the world and about ourselves, and therefore, it becomes necessary to develop the ability to understand, analyze, and evaluate mass media. This lecture will introduce some basic concepts like purposes and target audience of different mass media to help students make sense of their media experience.				
その他	講義は英語で行います。			
テキスト	特になし (担当教員が各講義において、資料を配布することがある。) (ID・パスワード送付時)			
参考文献				
関連科目				
開講日時	10/3 (土)	10/10 (土)	10/17 (土)	10/24 (土)
	13:30~15:00			
会場	Zoomによる遠隔授業			
欠席連絡先	国際教養大学 電話: 018-886-5904/5905 (平日9:00~17:00) E-mail: cos@aiu.ac.jp			

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[26] 歴史を動かす簿記・会計について	科目 担当者	<学部・学科> 経済学部 経済学科 <職・氏名> 教授 國井 法夫
授業概要	経済の中心に「お金」があります。これは我々が普段、何げなく使っているものです。でもこれがないければ、その日その日の生活ができないのも事実です。また、現代社会や政治経済で学ぶGDPを表す数値もお金です。このお金の働きを正確にとらえ、我々がどう生きていけばよいのかを教えてくれる道具が「簿記・会計」です。		
授業方法 と留意点			
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数24名】先着順で募集を締め切ります</b>			
<12月11日(金) 17:30~19:00>			
第1講: 「イタリアの商業都市の商人及び江戸時代の商人と簿記・会計」			
複式簿記が世界で初めて行われたのは14世紀のイタリアの商業都市においてだと言われています。一方、日本においても江戸時代には豪商が出現します。当時、日本の豪商はどのような方法でお金の動きを把握していたのか。			
<b>「オランダ東インド会社と簿記・会計」</b>			
世界で最初の株式会社はオランダ東インド会社(1602年)と言われています。株式会社の最大の特徴は有限責任制と配当です。この株式会社においても複式簿記が採用されたと言われています。			
<12月18日(金) 17:30~19:00>			
第2講: 「産業革命・鉄道事業と簿記・会計」			
産業革命は資本主義の発展をもたらしました。そのなかで簿記・会計はどのような機能を要求され、どのように変化していったのか。その後、簿記・会計はアメリカにわたり、一般企業・鉄道会社等において飛躍的な発展を遂げることとなります。また、日本においては明治6年福沢諭吉の「帳合之法」・アラン・シャンド「銀行簿記精法」等により複式簿記が導入されることになる。			
その他			
テキスト	プリント		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	日本史、世界史、簿記、会計		
開講日時	12/11(金)		12/18(金)
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話: 018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[27] 日本の高度経済成長を 振り返って	科目 担当者	<学部・学科> 経済学部 経済学科 <職・氏名> 教授 國井 法夫
<b>授業概要</b> 第2次世界大戦後、日本は朝鮮戦争をきっかけとして、奇跡の高度経済成長を遂げます。この過程を2回に分けてお話をして行きたいと思います。まず、第1回目は終戦直後から東京オリンピックまで、第2回目は東京オリンピックからニクソンショックを経て1973年の第1次石油ショックまでお話いたします。			
授業方法 と留意点	プリントを配布するとともに、板書と話で授業を進めてまいります。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数6名】先着順で募集を締め切ります</b> <11月10日(火) 17:30~19:00>			
第1講：「終戦直後から東京オリンピックまで(第1次高度経済成長期)」 <ul style="list-style-type: none"> <li>①終戦直後からGHQの指導の下、どのように戦後の混乱を乗り切ったか。</li> <li>②高度経済成長のきっかけは何であったのか。</li> <li>③第1次高度経済成長の原因は何か。</li> <li>④この当時、どのような商品が売れたのか。</li> </ul>			
<11月17日(火) 17:30~19:00>			
第2講：「東京オリンピックから第1次石油ショックまで(第2次高度経済成長期)」 <ul style="list-style-type: none"> <li>①東京オリンピック直後からの不況、これをどう乗り切ったのか。</li> <li>②政府はどのような経済政策を実施したのか。</li> <li>③1971年ニクソンショックについて</li> <li>④1973年の第1次石油ショックにより日本の高度経済成長は終焉を迎える。</li> </ul>			
その他			
テキスト	プリント		
参考文献			
関連科目			
開講日時	11/10(火)		11/17(火)
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話：018-836-1343(平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[28] 近年の日本経済の状況	科目 担当者	(学部・学科) 経済学部 経済学科 (職・氏名) 教授 國井 法夫
<b>授業概要</b> 1986年頃から1990年頃にかけて日本ではバブル経済とよばれる状況が発生しました。これは経済の急激な膨張とその崩壊を泡に例えて表現したものです。第1回目はバブル経済とその崩壊、第2回目は安倍首相が打ち出した政策について考えます。			
授業方法 と留意点	プリントを配布するとともに、板書と話で授業を進めてまいります。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数24名】先着順で募集を締め切ります</b> < 12月 1日 (火) 17:30~19:00 >			
第1講：「バブル経済とその崩壊、その後の日本の経済状況」 バブル経済に至る原因とバブルと言われた経済状況を考え、バブル崩壊とその原因、その後の日本経済の状況についてお話しします。			
< 12月 8日 (火) 17:30~19:00 >			
第2講：「アベノミクスについて考える」 アベノミクスとはどのような経済政策なのかを考えるとともに、この経済政策が日本経済に与えた影響について一緒に考えていきたいと思ひます。			
その他			
テキスト	プリント		
参考文献			
関連科目			
開講日時	12/1 (火)	12/8 (火)	
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話：018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学	
科目名 (サブタイトル)	[29] 日本の芸能—歌舞伎と人形浄瑠璃	科目 担当者	〈学部・学科〉経済学部 経済学科 〈職・氏名〉教授 花田 富二夫	
<b>授業概要</b> 日本の芸能を代表する歌舞伎と人形浄瑠璃に関して、その発生や特徴などを学習する。また、代表作の二作品を取り上げて、その内容や文章について具体的に学ぶ。				
授業方法 と留意点	解説などは、すべてプリントを用いる。毎回、DVDによる鑑賞を行う。			
<b>授 業 計 画</b>				
<b>【募集定員人数18名】先着順で募集を締め切ります</b> < 11月11日（水）17:30～19:00 > 第1講：「歌舞伎の発生と概要」 歌舞伎の発生と歴史について学習する。DVD鑑賞有り。				
< 11月18日（水）17:30～19:00 > 第2講：「歌舞伎「勸進帳」の世界」 歌舞伎の代表作「勸進帳」に関して、その内容とテーマに迫る。DVD鑑賞有り。				
< 11月25日（水）17:30～19:00 > 第3講：「人形浄瑠璃の発生と概要」 人形浄瑠璃の発生とその特徴について学習する。DVD鑑賞あり。				
< 12月 2日（水）17:30～19:00 > 第4講：「人形浄瑠璃「曾根崎心中」の世界」 近松門左衛門作名作の「曾根崎心中」を取り上げ、その内容や文章の美しさを鑑賞する。DVD鑑賞有り。				
その他				
テキスト	全てプリントで行う			
参考文献	特になし			
関連科目	高校国語古典			
開講日時	11/11（水）	11/18（水）	11/25（水）	12/2（水）
	17:30～19:00			
会場教室	カレッジプラザ			
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1343（平日9:00～17:00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp			

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[30] 地域振興と民俗文化との関わり  (北前船の往来と文化の伝搬)	科目 担当者	<学部・学科> 経済学部 経済学科  (職・氏名) 教授 鎌田 幸男
<p><b>授業概要</b> 民俗は暮らしの中で築き上げてきた生活の文化です。北前船（文化の伝播船）の寄港地は日本遺産に登録されています。そうした地域は連携してそれを地域振興に役立てようとしています。この授業では、地域振興に民俗文化はどう関わりあるか考えます。</p>			
授業方法 と留意点	<p>北前船往来の意義と地域経済に与えた影響、そして文化伝播の意味を考えます。 近世に日本海を往来した船はすべて北前船かどうか。移出入物にどのような物があるのか。 日本遺産、世界遺産、ユネスコの無形文化遺産とはどのようなものか。</p>		
<b>授 業 計 画</b>			
<p><b>【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります</b></p> <p>&lt; 11月 5日 (木) 17:30~19:00 &gt;</p> <p>第1講：「北前船の往来とその意義について」</p> <p>どのような船か、変遷と移出入物、地域への影響</p> <p>&lt; 11月 19日 (木) 17:30~19:00 &gt;</p> <p>第2講：「文化の伝播と地域振興への関わり」</p> <p>具体的にどのような文化か、日本遺産、世界遺産、ユネスコの無形文化遺産について</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			
開講日時	11/5 (木)	11/19 (木)	
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話：018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[31] 国際機関/国際協力	科目 担当者	(学部・学科) 経済学部 経済学科 (職・氏名) 教授 坂元 浩一
<b>授業概要</b> 担当教員のこれまでの国際連合を中心とした国際機関での勤務の経験と、世界及び日本の対発展途上国、国際協力の仕事を踏まえて、現実の仕事や心構えを説明します。			
授業方法 と留意点	講義形式です。プリントを配布します。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数24名】先着順で募集を締め切ります</b> <10月 2日(金) 17:30~19:00> 第1講: 「国際機関に勤務するには」 東京、中国の上海における大学院生、大学生を対象とした講義 <10月23日(金) 17:30~19:00> 第2講: 「国際協力の実際」 東京における日本政府招聘官僚研修講師として、東南アジア、アフリカ、ラテンアメリカなどからの経済・財政担当官僚に対して、講演・指導。また、日本政府および地方政府の官僚の研修も担当した。			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			
開講日時	10/2(金)	10/23(金)	
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話: 018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[32] 国際ビジネスマーケティング	科目 担当者	(学部・学科) 経済学部 経済学科 (職・氏名) 教授 坂元 浩一
授業概要	外国および日本の多国籍企業の経営上のマーケティング（販売促進）について、具体例を豊富に挙げながら説明します。パリやロンドンなどの地図や実際の商品を扱います。		
授業方法 と留意点	講義形式です。プリントを配布します。		
<b>授 業 計 画</b>			
<p><b>【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります</b></p> <p>&lt; 12月 4日 (金) 17:30~19:00 &gt;</p> <p>第1講：「国際ビジネスマーケティングの実際(1)」</p> <p style="text-align: center;">—大学での講義、パリなどでの調査—</p> <p>事例として、ブランド大国フランスの首都パリ。高級チョコレート『マリーアントワネットのピストル』、『ロレーヌの真珠』など具体的な商品を題材として取り上げる</p> <p>&lt; 12月 8日 (火) 17:30~19:00 &gt;</p> <p>第2講：「国際ビジネスマーケティングの実際 (2)」</p> <p style="text-align: center;">—大学での講義、欧州・アジアなどでの調査—</p> <p>事例：ロンドン、マドリード、ウィーン、東南アジア、東京など</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			
開講日時	12/4 (金)	12/8 (火)	
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話：018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[33] アメリカの歴史を知る	科目 担当者	(学部・学科) 経済学部 経済学科 (職・氏名) 教授 荒幡 克己
<p><b>授業概要</b> この講義では、アメリカのことをもっとよく知りたい人に、参考となるような話をします。ここでは、歴史に焦点を当てます。「ヤンキー」という言葉の語源は、どういう意味なのか、このような疑問に答えます。</p>			
授業方法 と留意点	特になし		
<b>授 業 計 画</b>			
<p><b>【募集定員人数6名】先着順で募集を締め切ります</b></p> <p>&lt;10月15日(木) 17:30~19:00&gt;</p> <p>第1講: 「ヤンキーという言葉の語源となった歌をみんなで歌おう」</p> <p>&lt;10月22日(木) 17:30~19:00&gt;</p> <p>第2講: 「ゲティスバーグの戦い、川中島の合戦、そして関ヶ原」</p>			
その他			
テキスト	特になし		
参考文献	特になし		
関連科目	世界史、地理、政治経済		
開講日時	10/15(木)		10/22(木)
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話: 018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[34] アメリカの地理を知る	科目 担当者	(学部・学科) 経済学部 経済学科 (職・氏名) 教授 荒幡 克己
授業概要	この講義では、アメリカのことをもっとよく知りたい人に、参考となるような話をします。ここでは、その地理に焦点を当てて話します。アメリカは東と西の違いが大きいのか。それとも、北と南の違いか。このような疑問に答えます。		
授業方法 と留意点	特になし		
<b>授 業 計 画</b>			
【募集定員人数6名】先着順で募集を締め切ります			
<10月20日(火) 17:30~19:00>			
第1講: 「ヤンキースのライバルは、ジャイアンツか、 ドジャースか、それとも?」			
<10月27日(火) 17:30~19:00>			
第2講: 「雄物川の河川敷にはゴルフ場、 それではミシシッピ川の河川敷には?」			
その他			
テキスト	特になし		
参考文献	特になし		
関連科目	世界史、地理、政治経済		
開講日時	10/20(火)		10/27(火)
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話: 018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[35] アメリカの政治を知る	科目 担当者	(学部・学科) 経済学部 経済学科 (職・氏名) 教授 荒幡 克己
<p><b>授業概要</b> この講義では、アメリカのことをもっとよく知りたい人に、参考となるような話をします。ここでは、政治に焦点を当てて話します。共和党と民主党、シンボルマークの動物は何か、このような疑問に答えます。</p>			
授業方法 と留意点	特になし		
<b>授 業 計 画</b>			
<p><b>【募集定員人数6名】先着順で募集を締め切ります</b></p> <p>&lt;10月29日(木) 17:30~19:00&gt;</p> <p>第1講: 「アメリカ1\$札、5\$札、10\$札、20札、50\$札に 描かれた政治家は何党?」</p> <p>&lt;11月 5日(木) 17:30~19:00&gt;</p> <p>第2講: 「日本の国会議員の秘書の数は5~6人、 ではアメリカの議員の秘書は何人?」</p>			
その他	特になし		
テキスト	特になし		
参考文献	特になし		
関連科目	世界史、地理、政治経済		
開講日時	10/29(木)		11/5(木)
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話: 018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[36] アメリカの経済を知る	科目 担当者	(学部・学科) 経済学部 経済学科 (職・氏名) 教授 荒幡 克己
<b>授業概要</b> この講義では、アメリカのことをもっとよく知りたい人に、参考となるような話をします。ここでは、経済に焦点を当てて話します。ラスト(赤さび)ベルトはそれぞれどの州を指すのか、このような疑問に答えます。			
授業方法 と留意点			
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数6名】先着順で募集を締め切ります</b> <12月 1日(火) 17:30~19:00> 第1講: 「格差のアメリカ、黄金時代の自動車、 鉄鋼の産業はどうなったのか」			
<12月 8日(火) 17:30~19:00> 第2講: 「のどかなトウモロコシ畑はどこへ、 オレンジの安さを支える労働者たち」			
その他			
テキスト	特になし		
参考文献	特になし		
関連科目	特になし		
開講日時	12/1(火)	12/8(火)	
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話: 018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[37] アメリカの文化を知る	科目 担当者	(学部・学科) 経済学部 経済学科 (職・氏名) 教授 荒幡 克己
<p><b>授業概要</b> この講義では、アメリカのことをもっとよく知りたい人に、参考となるような話をします。ここでは、文化、人種に焦点を当てて話します。全米で一番犯罪率が低い州、町はどこか、このような疑問に答えます。</p>			
授業方法 と留意点	特になし		
<b>授 業 計 画</b>			
<p><b>【募集定員人数6名】先着順で募集を締め切ります</b></p> <p>&lt;10月 1日 (木) 17:30~19:00&gt;</p> <p>第1講: 「日本で一番犯罪率が低い県は秋田県。 それではアメリカではどこか?」</p> <p>&lt;10月 8日 (木) 17:30~19:00&gt;</p> <p>第2講: 「アメリカのハーゲンダッツは、 日本よりどれくらいサイズが大きい?」</p>			
その他			
テキスト	特になし		
参考文献	特になし		
関連科目	世界史、地理、政治経済		
開講日時	10/1 (木)	10/8 (木)	
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話: 018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[38] 雪国の暮らしと食習慣	科目 担当者	(学部・学科) 経済学部 経済学科 (職・氏名) 准教授 村中 孝司
<p><b>授業概要</b> 日本海側に住む私たちの生活には、雪は無くってはならない存在です。多雪地帯である秋田は、雪による自然災害に見舞われる一方、自然からの恵みを忘れることはできません。長い冬を乗り切る知恵としての保存食、雪解けと同時に始まる山菜採り、納豆などの発酵食品、いずれも雪がもたらす恵みです。この授業では、日本海側の食習慣に焦点を当てて解説します。</p>			
授業方法 と留意点	授業最後に感想や意見などを記入する時間があります。		
<b>授 業 計 画</b>			
<p><b>【募集定員人数18名】 先着順で募集を締め切ります</b></p> <p>&lt;10月21日(水) 17:30~19:00&gt;</p> <p>第1講: 「冬から早春を味わう: 漬物と山菜のはなし」</p> <p>塩分含有量の多い漬物は、近年では敬遠されつつある食材の一つです。しかし、漬物は、古くより、長い冬の間のビタミン不足を補う重要な食料でした。近年では、その本来の役割は失われつつありますが、雪国に暮らす人々にとっては重要な伝統食です。春になると、ビタミン類を早く補給するための山菜採りに精を出します。第1講では、冬から早春の食習慣に注目して解説します。</p> <p>&lt;10月28日(水) 17:30~19:00&gt;</p> <p>第2講: 「ねばり食材と大豆を味わう: 納豆、海藻、えだまめのはなし」</p> <p>納豆は日本の伝統食の一つです。古くは、雪の中でゆっくりと熟成され、作られてきました。これを雪納豆と呼びます。つまり、納豆は雪が存在している地域こそ主要な産地なのであり、その地域の人々の食生活と密接な関係を持ってきたといえます。一方、粘りけの多い食材を人々がどのようにして受け入れたか、謎に満ちています。第2講では、納豆と海藻(ギバサ)などに注目して解説します。</p>			
その他			
テキスト	プリントを配布します。		
参考文献	授業中に紹介します。		
関連科目	理科(生物)、地理歴史科(地理、日本史)、公民		
開講日時	10/21(水)		10/28(水)
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話: 018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[39] 科学的探究の方法	科目 担当者	(学部・学科) 経済学部 経済学科 (職・氏名) 准教授 村中 孝司
<b>授業概要</b> 自然界における現象には何かの原因が存在します。科学者たちは、現象の原因を解き明かし、科学の法則を導いてきました。この授業では、大学生が実施した卒業論文や発表会を題材に、科学研究の手法を解説します。			
授業方法 と留意点	授業最後に感想や意見などを記入する時間があります。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数18名】先着順で募集を締め切ります</b> <10月 7日(水) 17:30~19:00>			
第1講：「問題の発見：日常の何気ない疑問から」  みなさんは日常生活の中で、ふと疑問に思うことはないでしょうか。人間は大人になるにつれて知識や経験が増加し、ちょっとした疑問に対しても、知識に基づいて物事を結論づけようとしています。しかし、そのような知識は、自然・社会現象の真実の断片に過ぎないかもしれません。第1講では、何気ない疑問から始まった研究事例を紹介します。			
<10月14日(水) 17:30~19:00>			
第2講：「客観的手法の検討：定性的情報を定量化する」  自分自身の主張や考えを他者に説明し、その内容を理解してもらうためには、客観的事実に基づく主張を展開しなければなりません。科学では主観に基づく議論を遠ざけ、誰もが認める事実に基づく議論が必要になります。第2講では、客観的手法に基づく研究事例を紹介します。			
その他			
テキスト	プリントを配布します。		
参考文献	授業中に紹介します。		
関連科目	理科（生物）、地理歴史科（地理、日本史）、公民		
開講日時	10/7(水)		10/14(水)
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1343（平日9:00~17:00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[40] 現代経済学の基礎 (「私」の問題)	科目 担当者	(学部・学科) 経済学部 経済学科 (職・氏名) 准教授 西巻 丈児
<p><b>授業概要</b> 皆さんは、生まれて、学んで、そして、今後働くことになるでしょう。これまであまり考えたことがないかもしれませんが、そもそも生きている「私(=自分)って何?」という素朴な疑問を、一緒に考えてみませんか。</p>			
授業方法 と留意点	いろいろな問題を提示していきますので、自分の問題として真剣に考えてみましょう。		
<b>授 業 計 画</b>			
<p><b>【募集定員人数18名】先着順で募集を締め切ります</b></p> <p>&lt;12月 9日(水) 17:30~19:00&gt;</p> <p>第1講: 「私って何? 本当の私って?」</p> <p>自分のことを「私」と言いますが、「私」っていったい何なのでしょう。自分の顔をじかに見ることはできるのでしょうか。ありのままの自分とは一体どういうことを意味しているのでしょうか。</p> <p>&lt;12月16日(水) 17:30~19:00&gt;</p> <p>第2講: 「未知と既知」</p> <p>知らなかったことを知った時の喜びや新鮮な感じと、既に知っていると思っっていることがよく分かっていないという「知」の曖昧さを実感してみましょう。</p>			
その他			
テキスト	講義資料を配布します。		
参考文献	講義の中で、適時紹介します。		
関連科目	哲学、倫理学、心理学、経済学		
開講日時	12/9(水)	12/16(水)	
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話: 018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[41] 現代経済学の基礎 (「心」の問題)	科目 担当者	(学部・学科) 経済学部 経済学科 (職・氏名) 准教授 西巻 丈児
授業概要	「心」、「愛」や「労働」は見えないものですが（「心づかい」、「愛の形」や「労働の成果」、「働く姿」は見えますが）、「見えないもの」が「ある」とはどういうことなのでしょう。一緒に考えてみましょう。		
授業方法 と留意点	いろいろな問題を提示していきますので、自分の問題として真剣に考えてみましょう。		
<b>授 業 計 画</b>			
<p><b>【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります</b></p> <p>&lt;10月16日(金) 17:30~19:00&gt;</p> <p>第1講：「「心」はどこにあるのでしょうか？」</p> <p>私（=自分）には「心」が、あるのでしょうか。あるとしたならば、どこに・どのようにあるのでしょうか。はたして、他人には「心」はあるのでしょうか。</p> <p>&lt;10月23日(金) 17:30~19:00&gt;</p> <p>第2講：「「感じる」と「考えること」の違いを考えてみましょう」</p> <p>「暑いね!」、「本当に暑いね!」。2人の会話の「暑い」は、同じことを意味しているのでしょうか。他人と自分の感覚が同じであると、証明するすべは何なのでしょう。「見たり、聞いたり、触ったり」という「感覚」と、「考える」という働きの違いをはっきりと分けてみましょう。</p>			
その他			
テキスト	講義資料を配布します。		
参考文献	講義の中で、適時紹介します。		
関連科目	哲学、倫理学、心理学、経済学		
開講日時	10/16(金)	10/23(金)	
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1343（平日9:00~17:00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[42] なぜ学校は必要なのか？ (『脱学校の社会』から)	科目 担当者	(学部・学科) 経済学部 経済学科 (職・氏名) 准教授 市原 光匡
<p><b>授業概要</b> 情報化の進展に伴って、学校以外のさまざまな場で知識や技術を獲得できるようになるなか、学校の存在意義が問われています。昔から問われてきたこのテーマについて、イリッチの脱学校論をもとに検討します。</p>			
授業方法 と留意点	<p>講義内容をまとめたプリント教材を毎回配布し、それに沿って授業を進めていきますが、みなさんが議論する時間も持つ予定です。授業のテーマである学校の存在意義について、みなさんなりに考えておいていただきたいと思います。</p>		
<b>授 業 計 画</b>			
<p><b>【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります</b></p> <p>&lt;10月15日(木) 17:30~19:00&gt;</p> <p>第1講：「教育病理と脱学校論」</p> <p>学校の急速な普及・拡大は、多くの国々で教育病理を生じさせ、学校改革や学校そのものの存在意義が問われることとなりました。なかでも、学校制度全体を廃絶するというイリッチの主張を取りあげ議論します。</p> <p>&lt;10月22日(木) 17:30~19:00&gt;</p> <p>第2講：「なぜ脱学校は実現しないのか？」</p> <p>イリッチは、学校に代わる教育の制度も提案しています。彼のことばを借りつつ、脱学校化した社会のイメージを描くとともに、なぜ現実には脱学校化が実現していないのか、なぜ学校が必要とされているのか検討します。</p>			
その他			
テキスト	特にありません。必要に応じて資料を配布します。		
参考文献	イヴァン・イリッチ『脱学校の社会』[The Deschooling Society] 東洋・小沢周三訳，東京創元社，1977.		
関連科目	現代社会		
開講日時	10/15(木)	10/22(木)	
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1343(平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[43] クローン生物について	科目 担当者	(学部・学科) 経済学部 経済学科 (職・氏名) 准教授 石川 雅敏
授業概要	クローンは同じ起源を持ち、同一の遺伝情報を有する生物の集団を意味します。バイオテクノロジーの発展によって、色々なクローン生物が作れるようになっていきます。古くて新しいクローン生物の世界を紹介します。		
授業方法 と留意点	自己複製という生物の特徴の1つをクローン技術を例として理解することを目指します。		
<b>授 業 計 画</b>			
<p><b>【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります</b></p> <p>&lt;10月14日(水) 17:30~19:00&gt;</p> <p>第1講: 「ソメイヨシノは何故いっせいに咲くか? (クローン植物)」</p> <p>春になると桜がいっせいに咲きます。不思議だと思いませんか? 古くから利用されていたクローン植物の作製技術を紹介します。</p> <p>&lt;10月21日(水) 17:30~19:00&gt;</p> <p>第2講: 「マンモスは甦るか? (クローン動物)」</p> <p>植物だけではなく、現代ではクローン動物も作られています。核移植という最新のバイオテクノロジーを用いたクローン動物の作製技術について紹介します。</p>			
その他			
テキスト	特にありません。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	生物		
開講日時	10/14(水)	10/21(水)	
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話: 018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[44] ウイルスって何？	科目 担当者	(学部・学科) 経済学部 経済学科 (職・氏名) 准教授 石川 雅敏
<b>授業概要</b> コロナで話題となっているウイルスって何でしょう？ウイルスという微生物の発見の歴史、ウイルス感染によって起こる疾患、ウイルス感染症の一般的な予防・治療方法について説明します。			
授業方法 と留意点			
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数24名】先着順で募集を締め切ります</b> <10月28日(水) 17:30~19:00>  第1講: 「ウイルスって何？」  ウイルス発見の歴史、ウイルスの種類と特徴などについて説明します。  <11月 4日(水) 17:30~19:00>  第2講: 「薬の種類: 風邪薬と抗ウイルス薬と抗生物質」  風邪薬と抗ウイルス薬と抗生物質の作用メカニズムの違いについて説明します。			
その他			
テキスト	特にありません。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	生物		
開講日時	10/28(水)	11/4(水)	
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話: 018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[45] 発酵とは？	科目 担当者	(学部・学科) 経済学部 経済学科 (職・氏名) 准教授 石川 雅敏
授業概要 発酵と腐敗はどのように違うのでしょうか？発酵食品のおいしさの秘密を探ります。			
授業方法 と留意点	食品加工分野における日本の良き伝統技術を理解することを目指します。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数24名】先着順で募集を締め切ります</b>			
< 12月16日(水) 17:30~19:00 >			
第1講：「発酵と腐敗」			
「発酵と腐敗を区別するのは科学ではなく、文化である。」と言われます。その意味について説明します。			
< 12月23日(水) 17:30~19:00 >			
第2講：「発酵食品と微生物」			
日本酒、ビール、味噌、醤油、納豆、チーズ。これらは全て微生物の力を借りて作られています。発酵食品の不思議を紹介します。			
その他			
テキスト	特にありません。		
参考文献	中島春紫著 「日本の伝統 発酵の科学」 講談社 ブルーバックス		
関連科目	生物		
開講日時	12/16(水)	12/23(金)	
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話：018-836-1343(平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[46] コロナ対策へ	科目 担当者	(学部・学科) 経済学部 経済学科 (職・氏名) 准教授 石川 雅敏
授業概要	コロナウイルスに対して、どのように対策できる可能性があるのでしょうか？人間が過去にどのようにウイルスと戦ってきたかを説明します。		
授業方法 と留意点	ウイルス感染症に対する対策の基本的考えを理解することを目指します。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数24名】先着順で募集を締め切ります</b>			
< 12月 2日 (水) 17:30~19:00 >			
第1講：「免疫って何？」			
人間は微生物に対する免疫力を高めることによって感染症と戦ってきました。その基本的なメカニズムを説明します。			
< 12月 9日 (水) 17:30~19:00 >			
第2講：「ワクチンって何？」			
感染症対策の最大の武器はワクチンを開発することです。「ワクチン」とは何か？ワクチンはどのようにウイルスをやっつけるのか？ワクチンはどのように開発されるのか？などについて説明します。			
その他			
テキスト	特にありません。		
参考文献	授業の中で紹介します		
関連科目	生物		
開講日時	12/2 (水)	12/9 (水)	
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話：018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[47] 世界史と法学 (欧米の歴史から「憲法」を問う)	科目 担当者	(学部・学科) 法学部 法律学科 (職・氏名) 教授 佐藤 寛稔
授業概要	法学、政治学、社会学において、「憲法」の成り立ちや歴史的な経緯を知ることは必須です。この授業では、近代市民革命期から現代までの歴史をふまえつつ、国家権力のあるべき姿、人の共生について検討します。		
授業方法 と留意点	法や政治のさまざまな側面を扱います。中でも、国の成り立ちとの関りが最も深い、「憲法」を思考の軸とします。時事的な話題も取り上げます。新聞やテレビのニュースをよく見ておいてください。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数18名】先着順で募集を締め切ります</b>			
<11月14日(土) 13:20~14:50>			
第1講: 「権利が欲しい、あの革命」 フランス革命以前の中世ヨーロッパでは、国王、貴族、ギルド(職能団体)が力を持っていました。ルイ16世とマリー・アントワネットの処刑と人権宣言による、世界の変化を解説します。			
<11月14日(土) 15:00~16:30>			
第2講: 「平等にしたい、この世界」 世の中の「平等」が、本当の意味で平等といえるのかを、クイズ形式で問います。さらに、アメリカ独立宣言、奴隷制度、人種差別など歴史から、多様化が進む現代を見直しましょう。			
その他	筆記用具を持参してください。		
テキスト	特になし。		
参考文献	授業中に資料を配布します。		
関連科目	世界史、日本史、現代社会、倫理、政治・経済、法学、政治学、社会学		
開講日時	11/14(土)		
	13:20~14:50	15:00~16:30	
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話: 018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学	
科目名 (サブタイトル)	[48] 会社とは何か。 会社の社長って！	科目 担当者	〈学部・学科〉法学部 法律学科 〈職・氏名〉教授 道端 忠孝	
<b>授業概要</b> 会社を作るということはどういうことか。社長になるということはどういうことか。コンビニも、JRも、NTTも、銀行もみんな会社です。まずは、会社名を考えてみましょう。				
授業方法 と留意点	皆さんの意見を聞きながら進めます。			
<b>授 業 計 画</b>				
<b>【募集定員人数6名】先着順で募集を締め切ります</b> <11月14日(土) 13:20~14:50> 第1講：「会社を立ち上げるということはどういうことか」 会社という法人の意味や、合名会社、合資会社、合同会社、株式会社の違いをお話しします。				
<11月14日(土) 15:00~16:30> 第2講：「株式会社の設立のあらまし」 株式会社の設立方法には、発起設立という方法と、募集設立という方法がありますが、それらの概要をお話しします。				
<11月28日(土) 13:20~14:50> 第3講：「株式会社の運営のあらまし」 株主総会や取締役会、代表取締役（社長）の選任などをお話しします。				
<11月28日(土) 15:00~16:30> 第4講：「社長ってすごいけど大変ですね！」 社長の権限と経営責任について、お話しします。年俸数億円~数十億円の社長も！				
その他				
テキスト	プリントを配布します。			
参考文献	講義時に紹介します。			
関連科目	会社法、企業法、商法			
開講日時	11/14(土)		11/28(土)	
	13:20~14:50	15:00~16:30	13:20~14:50	15:00~16:30
会場教室	カレッジプラザ			
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1343（平日9:00~17:00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp			

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学	
科目名 (サブタイトル)	[49] マンションなど、 不動産取引の心得	科目 担当者	〈学部・学科〉法学部 法律学科 〈職・氏名〉教授 道端 忠孝	
<b>授業概要</b> マンションなどの不動産取引をするときに、留意すべき点をお話しします。貸借は賃貸料が少ないので大きな問題は生じませんが、売買は、何千万円、何億円という大金が動きますので、その心得をお話しします。				
授業方法 と留意点	皆さんの意見を聞きながら進めます。			
<b>授 業 計 画</b>				
<b>【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります</b> <11月11日(水) 17:30~19:00> 第1講: 「不動産の売買とは」 不動産売買契約を結ぶとはどういうことか、その方法などをお話しします。				
<11月18日(水) 17:30~19:00> 第2講: 「不動産取引と不動産登記」 不動産取引をしたら登記しなさいと言われてますが、それがどういうことか、お話しします。				
<11月25日(水) 17:30~19:00> 第3講: 「不動産登記に公信力がないとは」 不動産登記の名義人を不動産の権利者と信じてても保護されないということはどういうことか、お話しします。				
<12月2日(水) 17:30~19:00> 第4講: 「不動産取引業(宅建業)と宅建士」 不動産取引業には免許が必要で、事務所には宅建士を5人に1人の割合で置かなければなりません。その宅建士についてお話しします。				
その他				
テキスト	プリントを配布します。			
参考文献	講義時に紹介します。			
関連科目	民法、不動産取引法			
開講日時	11/11(水)	11/18(水)	11/25(水)	12/2(水)
	17:30~19:00			
会場教室	カレッジプラザ			
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話: 018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp			

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学	
科目名 (サブタイトル)	[50] 自動車保険のしくみと 生命保険など	科目 担当者	〈学部・学科〉法学部 法律学科 〈職・氏名〉教授 道端 忠孝	
<b>授業概要</b> 自動車の人身事故では被害者への損害賠償責任が何億円にも及ぶこともあります。そんな時、自動車保険に加入していれば安心・安全です。その自動車保険のしくみのほか、生命保険などのお話をします。				
授業方法 と留意点	皆さんの意見を聞きながら進めます。			
<b>授 業 計 画</b>				
<b>【募集定員人数18名】先着順で募集を締め切ります</b> <11月12日(木) 17:30~19:00> 第1講: 「自動車保険とは」 自動車による人身事故の責任をお話しし、自動車保険の必要性をお話しします。				
<11月19日(木) 17:30~19:00> 第2講: 「自動車保険のいろいろ」 自動車保険と言っても、自賠責保険、任意の人身事故時の保険、物損事故時の保険、車両保険などがありますので、それらのお話をします。				
<11月26日(木) 17:30~19:00> 第3講: 「損害保険と生命保険の違い」 自動車保険は損害保険の一種ですが、その損害保険と生命保険の違いをお話しします。				
<12月 3日(木) 17:30~19:00> 第4講: 「生命保険の特質と利用方法」 生命保険はなぜ利用するか、生命保険の特質をお話ししながら、説明していきます。				
その他				
テキスト	プリントを配布します。			
参考文献	講義時に紹介します。			
関連科目	保険法			
開講日時	11/12(木)	11/19(木)	11/26(木)	12/3(木)
	17:30~19:00			
会場教室	カレッジプラザ			
欠席連絡先	ノースアジア大学			
	電話: 018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp			

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[51] 制定過程から 日本国憲法を考えてみよう (日本国憲法は正しくない憲法なの?)	科目 担当者	(学部・学科) 法学部 法律学科 (職・氏名) 教授 渡部 毅
授業概要	日本国憲法は明治憲法を改正して昭和21年に制定されましたが、その過程は国の基本法を決める観点からすると不適切だったのではないかという批判があります。歴史的事実や法的視点を踏まえ、その是非を考えます。		
授業方法 と留意点	プリント資料等を配布してお話をします。制定過程が適切だったのか不適切だったのかについては、どちらの意見もありえます。授業中に提示する歴史的事実や法的な考え方を踏まえて皆さんなりに考えていただき、自分の意見を持ってもらうことが目標です。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数6名】先着順で募集を締め切ります</b>			
<10月21日(水) 17:30~19:00>			
第1講: 「憲法とはどのような法でしょう？」 一般に「憲法」と呼ばれている法の特徴や内容について説明をします。 日本で最初の憲法である、明治憲法の内容や運用状況について説明します。			
<10月28日(水) 17:30~19:00>			
第2講: 「明治憲法から日本国憲法へ」 明治憲法から日本国憲法へ改正が行われた事情や改正過程について説明します。 太平洋戦争とその敗戦を契機とした日本国憲法制定過程について、歴史的事実を中心に解説します。			
<11月 4日(水) 17:30~19:00>			
第3講: 「日本国憲法の正当性と正統性」 第1講で学習した憲法という法の特徴や、第2講で学習した日本国憲法が制定された過程の知識を踏まえ、今の憲法に指摘される問題点と、それを克服する考え方について説明します。そのうえで、日本国憲法は正しくない憲法なのかどうかについて、皆さんに考えていただきます。			
その他			
テキスト	講義内容に関連するプリントや資料を配布します。		
参考文献	必要に応じ、授業中に紹介します。		
関連科目	法律 政治経済 現代社会 日本史		
開講日時	10/21(水)	10/28(水)	11/4(水)
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話: 018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学	
科目名 (サブタイトル)	[52] 高校生のための 安全保障学入門 (時事問題から国際社会を考える)	科目 担当者	〈学部・学科〉法学部 法律学科 〈職・氏名〉准教授 佐藤 克枝	
<b>授業概要</b> 安全保障について学ぶ入門編です。国際法の基本事項をおさえた上で、時事問題を検討しながら、これからの日本の安全保障のあり方についても一緒に考えていきましょう。				
授業方法 と留意点	プリントを配布して、それに沿って授業を進めます。毎回、受講者の意見を訊いていきますので積極的に参加してください。			
<b>授 業 計 画</b>				
<b>【募集定員人数18名】先着順で募集を締め切ります</b>				
< 12月 8日 (火) 17:30~19:00 >				
第1講: 「イスラム国は『国』か？」 国際社会の基本単位である国とは何か、また、国際社会での国家の責任について考えます。				
< 12月10日 (木) 17:30~19:00 >				
第2講: 「地図の見方を変えてみる」 今までと違う視点から日本を見ながら、近隣国との関係について考えます。				
< 12月15日 (火) 17:30~19:00 >				
第3講: 「トランプが切ったカードは何か？」 アメリカを中心に外交政策について考えます。				
< 12月17日 (木) 17:30~19:00 >				
第4講: 「日本を取り巻く安全保障問題とは」 領土問題、領有権問題などが生じた背景を確認し、日本の安全保障にかかわる問題を検討します。				
その他				
テキスト	講義内容をまとめた資料を配布します。			
参考文献	適宜、授業の中で紹介します。			
関連科目	公民（現代社会、政治・経済）、地理、国際法、国際政治学、国際関係論			
開講日時	12/8 (火)	12/10 (木)	12/15 (火)	12/13 (木)
	17:30~19:00			
会場教室	カレッジプラザ			
欠席連絡先	ノースアジア大学			
	電話: 018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp			

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[53] 裁判所の アップ・トゥ・デート (裁判所はどう変わっていくか)	科目 担当者	(学部・学科) 法学部 法律学科 (職・氏名) 准教授 川口 誠
授業概要	社会の変化に裁判所はどのように対応しているのか。今回はその動向の中から、裁判のICT化（民事関係）と、裁判所の施設の「バリアフリー化」について採りあげて見ます。		
授業方法 と留意点	毎回プリントを配布し、それに従って説明します。社会のセーフティネットとして重要な機能を果たしている裁判所にぜひ関心をもって、参加してください。		
<b>授 業 計 画</b>			
【募集定員人数18名】先着順で募集を締め切ります			
<10月22日（木）17:30~19:00>			
第1講：「裁判というお役所」 裁判所が変わります。どう変わるかの前に、今の裁判所、訴訟がどうなのかを確認しましょう。			
<10月29日（木）17:30~19:00>			
第2講：「裁判のICT化（民事関係）」 今年2月から、各地の裁判所で、民事裁判のICT化が一部先行試験的に実施されています。訴訟は一体どのように変わるのでしょうか。			
<11月 5日（木）17:30~19:00>			
第3講：「裁判所のバリアフリー化の状況」 公共施設である裁判所のバリアフリー化はどの程度まで整備されているのでしょうか。			
その他			
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配布します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	現代社会・政治経済		
開講日時	10/22（木）	10/29（木）	11/5（木）
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1343（平日9:00~17:00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学	
科目名 (サブタイトル)	[54] 自分を守り、 誰かを守る心理学 (安全に暮らし、命を助けるために)	科目 担当者	(学部・学科) 法学部 法律学科 (職・氏名) 准教授 瀧澤 純	
授業概要	変な人に会ったり、怖い思いをしたり、事故や災害で困ったりしたことはありませんか。この授業では、自分のためにも、人を支えるためにも、世の中にあるトラブルを理解しましょう。			
授業方法 と留意点	2019年度前期の「法心理学でトラブル解決！」の一部を変更した授業です。真剣に、ときに明るく講義や演習を行いましょう。			
<b>授 業 計 画</b>				
<b>【募集定員人数24名】 先着順で募集を締め切ります</b>				
< 11月29日 (日) 13:20~14:50 >				
第1講: 「サイコパスから身を守る」 よくあるサイコパス診断は間違っています。心理学による本物のサイコパステストを行いましょう。動物、ロボット、2次元キャラを題材に、心や命、権利や犯罪について考えます。				
< 11月29日 (日) 15:00~16:30 >				
第2講: 「攻撃から身を守る」 暴力、いじめ、差別はどこで起こるかわかりません。恋愛関係の暴力、子どもやペットへの躰と虐待、暴力的な映像の影響、体罰の基準、いじめの構造、差別と逆差別などを学びます。				
< 12月13日 (日) 13:20~14:50 >				
第3講: 「ミスコミュニケーションから身を守る」 誤解はケンカを生み、ときには裁判沙汰の原因にもなり、医療事故や航空機事故をも引き起こします。絵やジェスチャーで表現する実験をしながら、誤解の心理を理解しましょう。				
< 12月13日 (日) 15:00~16:30 >				
第4講: 「災害から身を守る」 災害に関するクイズに挑戦しながら、避難や救助、噂への対処、メディアや報道のあり方、法令について学びます。災害を知って、自分や誰かの命を救える人になってください。				
その他				
テキスト	特にありません。必要に応じて資料を配布します。			
参考文献	授業中に紹介します。			
関連科目	公民（現代社会、倫理、政治・経済）、犯罪心理学、法心理学、認知科学、憲法、民法、刑法、刑事政策			
開講日時	11/29 (日)		12/13 (日)	
	13:20~14:50	15:00~16:30	13:20~14:50	15:00~16:30
会場教室	カレッジプラザ			
欠席連絡先	ノースアジア大学			
	電話: 018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp			

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学	
科目名 (サブタイトル)	[55] 心理学で 人狼ゲームを分析しよう (会話型推理ゲームの人間心理)	科目 担当者	〈学部・学科〉法学部 法律学科 〈職・氏名〉准教授 瀧澤 純	
授業概要	人狼やトランプなどのアナログゲームには、推論、判断、感情のやりとり、駆け引きなどの心理学が関係します。これらを学び、接客、対人ケア、勝負事、トラブル回避など、普段の生活へ応用することを目指します。			
授業方法 と留意点	瀧澤のゼミで行っている研究を授業にしました。全ての回が、ゲームのルール説明、ゲームの実施、心理学的な知見の紹介、ゲームの再実施という順で行われます。事前の学習は必要ありません。			
<b>授 業 計 画</b>				
<b>【募集定員人数50名】先着順で募集を締め切ります</b>				
<10月24日(土) 13:20~14:50>				
第1講: 「『20の質問』と意味のつながり」 20回の質問を終えるまでに、相手が思い浮かべた単語を当てるゲームです。認知心理学における「概念形成」が関連します。ゲームの順番決めなどで必須となる、じゃんけんの講義も行います。				
<10月24日(土) 15:00~16:30>				
第2講: 「『セリフ伝達ゲーム』と表情の読み取り」 1人がセリフを伝えて、残りの人がそのセリフのニュアンスを当てます。伝える人の演技力と、当てる人の対人能力がカギです。社会心理学における「感情の伝達」が関連します。				
<10月25日(日) 13:20~14:50>				
第3講: 「『ワンナイト人狼』と嘘発見」 人狼役の方は、人狼であることがバレないようにします。それ以外の役の方は、会話などから人狼を見つけます。犯罪心理学における「嘘の検出」が関連します。				
<10月25日(日) 15:00~16:30>				
第4講: 「『NGワードゲーム』と交渉術」 人それぞれのNGワードを設定した状態で、他の人にNGワードを言わせるゲームです。社会心理学における「説得」と、第1講から第3講までの全ての要素が関連します。				
その他				
テキスト	特にありません。必要に応じて資料を配布します。			
参考文献	授業中に紹介します。			
関連科目	公民（現代社会、倫理、政治・経済）、認知心理学、社会心理学、犯罪心理学、刑法、刑事政策			
開講日時	10/24(土)		10/25(日)	
	13:20~14:50	15:00~16:30	13:20~14:50	15:00~16:30
会場教室	カレッジプラザ			
欠席連絡先	ノースアジア大学			
	電話: 018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp			

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[56] 高校生のための 刑法・医事法入門	科目 担当者	〈学部・学科〉法学部 法律学科 〈職・氏名〉准教授 秋山 栄一 助 教 岡崎 頌平
<b>授業概要</b> 本科目では、刑法と医事法という2つの法領域について、それぞれ具体的なトピックをいくつか挙げながら、一緒に考えていくことにしましょう。			
授業方法 と留意点	毎回、プリントを配布して、それに沿って授業を進めていきます。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数18名】先着順で募集を締め切ります</b> <10月 3日(土) 13:30~15:00> 第1講: 「人工妊娠中絶/臓器移植」 <div style="text-align: right;">助 教 岡崎 頌平</div> 医事法と刑法の両方にまたがる問題である、人工妊娠中絶と臓器移植の問題について考えます。			
<10月 3日(土) 15:15~16:45> 第2講: 「刑法と社会」 <div style="text-align: right;">准教授 秋山 栄一</div> 前講の医事法(医事刑法)の基礎となる刑法とは、どういったものなのか。その特徴・性質などについて、近年巷で話題となったような事件・事案などを題材に考えていく予定です。刑法の意外な一面も感じてもらえればと思います。			
その他			
テキスト	講義内容についてのプリントを毎回配布します。		
参考文献			
関連科目	現代社会など社会科科目 倫理 生物		
開講日時	10/3(日)		
	13:30~15:00	15:15~16:45	
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話: 018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[57] 「宗教と政治」からみる 西洋政治思想史 (キリスト教、宗教改革・内乱、近代政治思想)	科目 担当者	(学部・学科) 法学部 法律学科 (職・氏名) 講師 中村 逸春
<b>授業概要</b> ①ルターやカルヴァンの宗教改革はどういう意味で近代的だったのか、②その後の宗教内乱はいかなる近代的な政治思想の登場を促したのか。この授業ではこれらの問いに答えつつ、キリスト教と政治の関係を考察します。			
授業方法 と留意点			
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数18名】先着順で募集を締め切ります</b> <10月23日(金) 17:30~19:00> 第1講: 「宗教改革と政治思想: ルター、カルヴァンの意義とは何か」 ルターやカルヴァンによる宗教改革は、政治的にどのような意義を有していたのでしょうか(どういう意味で近代的だったのでしょうか)、この点について考えます。			
<10月30日(金) 17:30~19:00> 第2講: 「宗教内乱と政治思想: 抵抗権、寛容、主権」 ある意味で宗教改革によってもたらされた宗教内乱は、いかなる近代的な政治思想の登場を促したのでしょうか、イギリスやフランスの事例を紹介しつつ、この点について考えます。			
その他			
テキスト	毎回、授業の内容をまとめたプリントを配布します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	世界史、倫理、現代社会、政治経済、政治学、政治思想史、法学、社会学、経済学、哲学		
開講日時	10/23(金)	10/30(金)	
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話: 018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[58] 文学でたどる世界遺産の旅	科目 担当者	〈学部・学科〉 法学部 国際観光学科 〈職・氏名〉 教授 橋元 志保
<b>授業概要</b> 世界遺産の中には、優れた文学や芸術作品と深い関わりを持つものがあります。その中でも、人気の高い日本の古都京都と、イタリアの美しい都市ヴェローナを中心に、文学との関わりを分かりやすくお話しします。			
授業方法 と留意点	パワーポイントを使用して、美しい都市の景観や文化財を楽しみながら、文学との関連性を学んでいきます。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数18名】先着順で募集を締め切ります</b>			
<u>&lt;10月11日（日）13:00～14:30&gt;</u>			
第1講：「現代語訳『源氏物語』と古都京都の文化財」			
<p>「千年の都」と呼ばれる京都は、正に日本的な美を有する建築・文化財の宝庫であり、外国人観光客にも最も人気のある観光スポットです。平安時代の京都を舞台にした現代語訳『源氏物語』を読みながら、古都京都の美を楽しみましょう。</p>			
<u>&lt;10月11日（日）14:45～16:15&gt;</u>			
第2講：「『ロミオとジュリエット』の舞台ヴェローナ」			
<p>シェイクスピアの『ロミオとジュリエット』は約400年もの間、様々な演劇・バレエ・映画等となって、人々を楽しませて来ました。その魅力の秘密を、イタリアの美しい都市ヴェローナの景観を楽しみながら、一緒に考えていきましょう。</p>			
その他			
テキスト	資料を配布します。		
参考文献	授業中に紹介します。		
関連科目	古典・国語総合・地理歴史他		
開講日時	10/11（日）		
	13:00～14:30	14:45～16:15	
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話：018-836-1343（平日9:00～17:00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[59] 「ちはやふる」の 世界へようこそ	科目 担当者	(学部・学科) 法学部 国際観光学科 (職・氏名) 教授 橋元 志保
<b>授業概要</b>			
<p>広瀬すず主演の映画「ちはやふる」を、ご覧になったことはありますか。ちはや達のように百人一首カルタを楽しんでみませんか。また、映画の公開によって人気を集めた物語の舞台を訪ねる旅「聖地巡礼」及び、その経済効果についても分かりやすく解説します。</p>			
授業方法 と留意点	<p>パワーポイント等を使用し、物語の舞台「近江神宮」や百人一首、「聖地巡礼」等について、映像を見ながら、分かりやすく解説します。また実際に、百人一首カルタも楽しめます。初心者、大歓迎です。</p>		
<b>授 業 計 画</b>			
<p><b>【募集定員人数24名】先着順で募集を締め切ります</b></p>			
<p>&lt;10月20日(火) 17:30~19:00&gt;</p>			
<p>第1講：「物語の舞台・近江神宮と聖地巡礼」</p>			
<p>近江神宮は「かるたの聖地」と呼ばれており、毎年50万人もの参拝客でにぎわう、美しい朱塗りの楼門でも有名な神社です。映画「ちはやふる」公開による経済効果はどうだったのでしょうか。映画の一部を見ながら、解説します。</p>			
<p>&lt;10月27日(火) 17:30~19:00&gt;</p>			
<p>第2講：「百人一首と『ちはやふる』の世界」</p>			
<p>最も有名な「小倉百人一首」は、鎌倉時代初期に、藤原定家が選んだ秀歌選です。恋の歌、望郷の歌、離別の歌など、人の心を打つ、素晴らしい言葉に溢れた和歌への理解を深めながら、実際にちはや達のように百人一首カルタを楽しんでみませんか。</p>			
その他			
テキスト	資料を配布します。		
参考文献	授業中に紹介します。		
関連科目	古典・国語総合・地理歴史		
開講日時	10/20(火)		10/27(火)
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話：018-836-1343(平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[60] 夏目漱石と外国留学 (漱石のロンドン・鷗外のベルリン)	科目 担当者	(学部・学科) 法学部 国際観光学科 (職・氏名) 教授 橋元 志保
<b>授業概要</b>			
<p>文豪・夏目漱石と森 鷗外はその若き日に、それぞれイギリスとドイツに留学したことでも知られています。当時の留学生たちがぶつかった様々な困難とその喜びを、エピソードと共に紹介し、併せて漱石の文学も味読していきます。</p>			
授業方法 と留意点	<p>パワーポイントを使用し、素晴らしいロンドン・ベルリン旧市街の景観と共に、当時の社会状況や留学生生活を解説します。併せて、夏目漱石の文学作品（短編小説・エッセイ・日記等）を読んでいます。</p>		
<b>授 業 計 画</b>			
<p><b>【募集定員人数18名】先着順で募集を締め切ります</b></p> <p>&lt;11月10日（火）17:30~19:00&gt;</p> <p>第1講：「近代日本の海外留学：漱石のロンドン、鷗外のベルリン他」</p> <p>現代の私たちが知っている「留学」はいつ頃から始まったのでしょうか。明治時代、近代化を急ぐ母国日本のために、先進的な文明を学ぼうと、欧米へと旅立っていった当時の留学生たちの状況を、様々なエピソードと共にお話します。</p> <p>&lt;11月17日（火）17:30~19:00&gt;</p> <p>第2講：「漱石とロンドン：英国で触れた芸術と文学」</p> <p>漱石は、当時「太陽の沈むことのない帝国」であった英国の首都で、何を見たのでしょうか。大英博物館や倫敦塔をはじめとする、様々な英国文化に触れる漱石の姿を追いながら、その文学作品を楽しんでみましょう。</p>			
その他			
テキスト	資料を配布します。		
参考文献	授業中に紹介します。		
関連科目	文学国語（現代文）・地理歴史		
開講日時	11/10（火）		11/17（火）
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話：018-836-1343（平日9:00~17:00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[61] エアラインサービス	科目 担当者	〈学部・学科〉 法学部 国際観光学科 〈職・氏名〉 教授 横田 恵三郎
授業概要	航空機の歴史的発展を振り返りながら、航空業務をチームで支えている人々とりわけ「空港女子」にスポットライトを当て、高校生の皆さんが航空に興味を持ち将来の夢を大きく広げるきっかけを作る内容となっています。		
授業方法 と留意点	画像や映像を多用し、高校生の興味・関心を引き出すよう工夫しています。将来CAやGSになることを選択の一つに考えている人は是非受講してください。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります</b>			
< 12月 3日 (木) 17:30~19:00 >			
第1講: 「空を飛ぶ夢を追い続けた人々 ~飛行機はなぜ浮いて、なぜ飛べるの?~」			
初めて空を飛んだ人類はライト兄弟だと思われがちですが、果たしてそうでしょうか?あくなき挑戦をし続けた人々を紹介し航空ビジネスが進化した道のりを辿っていきます。			
< 12月10日 (木) 17:30~19:00 >			
第2講: 「飛行機の発着を支える空港の半端ない人々」			
飛行機はパイロットだけで運航されるわけではありません。たくさんの仕事があって大きなチームが連携して安全・安心な旅をお客様に提供しています。近年では航空や空港で活躍する女性が急激に増えています。「空港女子」の今を探ります。			
その他			
テキスト	プリント教材を毎回配付します。		
参考文献	都度、授業の中で紹介します。		
関連科目	航空力学		
開講日時	12/3 (木)		12/10 (木)
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話: 018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[62] アジアの文化と観光	科目 担当者	〈学部・学科〉 法学部 国際観光学科 〈職・氏名〉 教授 横田 恵三郎
<b>授業概要</b> 世界の人口約70億人のうち、アジアはその半数以上を占め多くの国々が集まっています。日本と距離的に近いアジア諸国の異文化を学び、また代表的な観光資源に触れることで国際的なセンスを磨きます。			
授業方法 と留意点	高校生の理解が深まるよう画像や映像を多用します。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります</b> < 12月16日（水）17:30～19:00 >			
第1講：「東南アジア？東アジア？南アジア？」  <p style="text-align: center;">まずはアジアの地理を理解しましょう。」</p> <p>多くの国々によって構成されるアジアですが、例えばブータン、ネパールの場所がすぐ頭の地図に浮かびますか？またインド洋、南シナ海、東シナ海はどうでしょう？そのあたりから先ず学びましょう。</p>			
< 12月17日（木）17:30～19:00 >			
第2講：「アジア諸国の文化的特徴と代表的観光資源」  <p>隣どうしの国であっても歴史をはじめ文化や習慣は大きく異なっている、もしくは交じり合っているのがアジアの特長です。世界遺産など国を代表する観光資源もそれらと深く関係しているかもしれません。探ってみましょう。</p>			
その他			
テキスト	プリント教材を毎回配付します。		
参考文献	都度、授業の中で紹介します。		
関連科目	地理		
開講日時	12/16（水）		12/17（木）
	17:30～19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話：018-836-1343（平日9:00～17:00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[63] インバウンド観光 (観光立国と産業としての観光)	科目 担当者	〈学部・学科〉 法学部 国際観光学科 〈職・氏名〉 教授 横田 恵三郎
<b>授業概要</b> 2019年の訪日外国人旅行客数は3119万人となり過去最高の数字となりました。中長期的に見れば観光特にインバウンド観光は日本が成長するのに必要な柱の産業になっています。インバウンドの歴史を紐解きながら日本の事情を考えてみます。			
授業方法 と留意点	データを多用し、スライドによる授業進行とします。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります</b> < 11月24日（火）17：30～19：00 >			
第1講：「インバウンド観光の歴史と近年の状況」  江戸時代末期の開国から昭和時代の東京オリンピック、大阪万博、ジャンボ機就航など節目の年を経てインバウンドとアウトバウンドの変遷を理解し、ここ数年の状況と今後の見通しについて考察してみたいと思います。			
< 12月 1日（火）17：30～19：00 >			
第2講：「インバウンド観光と日本社会の変化」  中国や韓国ではキャッシュレス決済は当たり前ですが、日本ではまだまだ浸透しているとは言えない状況です。また民泊という新しい制度も生まれました。インバウンドに対応する日本の企業や社会の変化を捉え、今後の方向について考えてみたいと思います。			
その他			
テキスト	プリント教材を毎回配付します。		
参考文献	都度、授業の中で紹介します。		
関連科目			
開講日時	11/24（火）	12/1（火）	
	17：30～19：00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1343（平日9：00～17：00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[64] 人間社会は どうしたら良くなるのか	科目 担当者	〈学部・学科〉 法学部 国際観光学科 〈職・氏名〉 教授 木村 澄
<b>授業概要</b> どのような職場でも、働くということは、労働者の生活全体につながりをもつことから、良い労働条件は生活水準を向上させ、ひいては国民全体の経済的・文化的水準の向上をもたらします。 この授業では、仕事の法律がなぜに生まれ、どのように機能しているかを学びます。			
授業方法 と留意点	労働に関する諸問題を法的に読み解く力を身につけ、職場で役に立てることができるようにすることを目標とします。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数6名】先着順で募集を締め切ります</b> <10月 2日（金）17:30～19:00>			
第1講：「人間社会はどうしたら良くなるのか①」  働く人々を守る法律がどのように誕生し、どのような性格と仕組みの中でいかに役割を果たしているかを学びます。			
<10月16日（金）17:30～19:00>			
第2講：「人間社会はどうしたら良くなるのか②」  働く人々を保護する制度が具体的にどのように適用されているかを、さまざまな事例をとおして学びます。			
その他			
テキスト	講義の際にプリントを配付します。		
参考文献	特にありません。		
関連科目	社会政策		
開講日時	10/2（金）		10/16（金）
	17:30～19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話：018-836-1343（平日9:00～17:00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[65] 人間の一生を どのように保障するか	科目 担当者	(学部・学科) 法学部 国際観光学科 (職・氏名) 教授 木村 澄
<b>授業概要</b> 仕事の条件、病気、けが、障がい、出産、失業、老後の問題などは、すべての人々にとって重大な日常生活上の事からです。社会政策の本質論を概観しながら、制度の具体的な適用を見ていくこととします。			
授業方法 と留意点	社会政策の成り立ちと理論を理解したうえで、社会政策にまつわる諸問題を読み解き、みなさんの職業生活と人生において活かせるようにすることを目標とします。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数18名】先着順で募集を締め切ります</b> < 11月24日（火）17:30～19:00 >  第1講：「人間の一生をどのように保障するか①」  人の生涯を保障する制度がどのような理由でいかに生まれてきたのかを見ていきます。 私たちの生きている社会がどのような社会であるのかがわかります。  < 12月 1日（火）17:30～19:00 >  第2講：「人間の一生をどのように保障するか②」  人の生涯を保障する諸制度を具体的に見ていきます。 みなさんの職業人生にとって、必ず必要となる有意義な知識となるはずです。			
その他			
テキスト	講義の際にプリントを配付します。		
参考文献	特にありません。		
関連科目	労働法、社会保障法		
開講日時	11/24（火）		12/1（火）
	17:30～19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1343（平日9:00～17:00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[66] 人種差別はなくなるのか	科目 担当者	〈学部・学科〉 法学部 国際観光学科 〈職・氏名〉 教授 木村 澄
授業概要 アメリカ法の特徴を明らかにしながら、特に公民権がどのように発展してきたかを様々な事件を取り上げながら見ていきます。			
授業方法 と留意点	アメリカにおける法の発展と諸制度を理解し、今日の事例を読み解く力を身につけることを目標とします。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数6名】先着順で募集を締め切ります</b>			
< 11月13日（金） 17:30～19:00 >			
第1講：「人種差別はなくなるのか①」			
独立宣言と奴隷制度、南北戦争と奴隷解放宣言、「市民権・法の平等な保護」などについて様々な事件をとおして見ていきます。			
< 11月20日（金） 17:30～19:00 >			
第2講：「人種差別はなくなるのか②」			
「公民権運動」の歴史的発展と公民権法の制定について、様々な事件をとおして見ていきます。			
その他			
テキスト	講義の際にプリントを配付します。		
参考文献	特にありません。		
関連科目	イギリス法		
開講日時	11/13（金）	11/20（金）	
	17:30～19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話：018-836-1343（平日9:00～17:00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[67] 心理学からみる コミュニケーション (他者を理解し、人間関係を育むために)	科目 担当者	<学部・学科> 法学部 国際観光学科 <職・氏名> 准教授 瀧澤 純
<b>授業概要</b> コミュニケーションの難しさを乗り越えるための授業です。心理学では別々に論じられている、注意、記憶、表情の読み取り、思い込みの排除などを、コミュニケーションという観点から理解します。			
授業方法 と留意点	できるだけ多くの側面からコミュニケーションについて検討します。話を聞くだけでなく、その場で体験しながら学びましょう。 瀧澤による他の高大連携授業と、内容は重複していません。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数50名】先着順で募集を締め切ります</b> < 11月15日（日）13:20～14:50 >			
第1講：「他者理解の成功と失敗」  表情や言葉を理解しようとしても、失敗することがあります。失敗の原因は、見落とし、もの忘れ、考え方のクセなど、誰もがもつ心理的特性です。顔の画像、会話の失敗例などを題材にします。			
< 11月15日（日）15:00～16:30 >			
第2講：「人間関係の成功と失敗」  あなたの人間関係はうまくいっていますか？恋愛や友人関係などの失敗は、誰かの性格や考え方を正確に理解できないことから説明できます。ジレンマや葛藤への解決策も示します。			
その他			
テキスト	特にありません。必要に応じて資料を配布します。		
参考文献	授業中に紹介します。		
関連科目	公民（現代社会、倫理、政治・経済）、認知心理学、社会心理学		
開講日時	11/15（日）		
	13:20～14:50	15:00～16:30	
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1343（平日9:00～17:00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[68] VRツ ー リ ズ ム (VRによる仮想観光、ITや情報による観光振興)	科目 担当者	(学部・学科) 法学部 国際観光学科 (職・氏名) 准教授 瀧森 威
<b>授業概要</b> 最新のIT技術を駆使した、VR(バーチャルリアリティ)を活用した観光の新しいスタイルが注目されています。観光業界ではどのように活用されているのか体感しましょう。			
授業方法 と留意点	情報・ITと観光という観点で、毎回スライドを使用してわかりやすく講義します。自分が知りたいことは、積極的にリクエストしてください。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数6名】先着順で募集を締め切ります</b>			
<u>&lt;10月 7日(水) 17:30~19:00&gt;</u>			
第1講：「VRによる仮想観光」			
基礎的な知識として、情報やITの技術の進化を解説する。観光地の仮想体験をVRをとおして行うことができるようになってきている。VRを利用した仮想観光について詳しく解説します。			
<u>&lt;10月14日(水) 17:30~19:00&gt;</u>			
第2講：「ITや情報による観光振興」			
総合戦略産業である観光において、情報やITの力がもっとも重要である。情報やITの活用実態を解説します。			
その他			
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配布します。		
参考文献	適宜紹介します。		
関連科目	「情報セキュリティ」、「AIとロボット、プログラミングの基礎」		
開講日時	10/7(水)	10/14(水)	
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話：018-836-1343(平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[69] 情報セキュリティ (ウイルス・サイバー攻撃、内部不正・情報漏えい)	科目 担当者	<学部・学科> 法学部 国際観光学科 <職・氏名> 准教授 瀧森 威
<b>授業概要</b> ITや情報技術、通信技術が飛躍的に進化している。一方でIT基盤を脅かす脅威が存在している。この脅威の知識・現状について、ビデオを視聴しながら解説をする。			
授業方法 と留意点	情報・ITの進展とセキュリティという観点で、毎回ビデオを使用してわかりやすく講義します。自分が知りたいことは、積極的にリクエストしてください。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります</b> <10月28日(水) 17:30~19:00> 第1講: 「ウイルス・サイバー攻撃編」 標的型サイバー攻撃に備えたマネジメント、攻撃メールの手口と対策、パソコン乗っ取りの脅威と対策。 <11月 4日(水) 17:30~19:00> 第2講: 「内部不正・情報漏えい編」 情報を漏らしたのは誰だ? 新入社員が知るべき情報漏えいの脅威、スマホ乗っ取りの脅威と対策。			
その他			
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配布します。		
参考文献	適宜紹介します。		
関連科目	「VRツーリズム」、「AIとロボット、プログラミングの基礎」		
開講日時	10/28(水)	11/4(水)	
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話: 018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[70] AIとロボット、 プログラミングの基礎	科目 担当者	〈学部・学科〉 法学部 国際観光学科 〈職・氏名〉 准教授 瀧森 威
授業概要	情報やITの分野においては、AI、ロボット、IoT、ウェアラブル、ビッグデータは重要なキーワードとなってきた。その技術動向の解説とプログラミングの基礎であるフローチャートの作成について学ぶ。		
授業方法 と留意点	情報・ITの進展とプログラミングという観点で、わかりやすく講義します。自分が知りたいことは、積極的にリクエストしてください。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数6名】先着順で募集を締め切ります</b>			
< 12月 2日 (水) 17:30~19:00 >			
第1講：「AIとロボット技術について」			
AIとロボットの技術の進歩について学習すると同時に、IoT・ウェアラブル・ビッグデータの知識も学ぶ。後半は、プログラミングの基本であるアルゴリズムとフローチャート作成について学ぶ。			
< 12月 9日 (水) 17:30~19:00 >			
第2講：「プログラミングの基本」			
前回に続き、プログラミングの基本であるアルゴリズムとフローチャート作成について学ぶ。			
その他			
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配布します。		
参考文献	適宜紹介します。		
関連科目	「VRツーリズム」、「情報セキュリティ」		
開講日時	12/2 (水)	12/9 (水)	
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話：018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (タイトル)	[71] ダークツーリズム (世界一周の旅)	科目 担当者	(学部・学科) 法学部 国際観光学科 (職・氏名) 准教授 デファルコ・リーアアン
<b>授業概要</b> 人間がジェットコースターに乗ったり怖い映画を見たりするのはなぜですか？ダークツーリズムはツーリズムの研究における新しい分野です。このユニークな観光について学ぶことができ、どのようなタイミングで観光が適切になるのかを一緒に議論しましょう！			
<b>授業方法と留意点</b>			
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数6名】先着順で募集を締め切ります</b>			
<u>&lt;10月 9日(金) 17:30~19:00&gt;</u>			
第1講：「ダークツーリズムの紹介」  重要なダークツーリズムについて深く学びます。ダークツーリズムの種類、観光地、価値を発見できます。			
<u>&lt;10月30日(金) 17:30~19:00&gt;</u>			
第2講：「ダークツーリズムの議論」  観光の分野の中でダークツーリズムは特に議論を引き起こします。ダークツーリズムの欠点と利点を学び、一緒に議論しましょう。			
その他			
テキスト	資料を配布する		
参考文献	特になし		
関連科目			
開講日時	10/9(金)		10/30(金)
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話：018-836-1343(平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[72] 世界最大の観光大国フランス	科目 担当者	〈学部・学科〉 法学部 国際観光学科 〈職・氏名〉 准教授 デファルコ・リーアアン
<b>授業概要</b> 世界最大の観光大国フランスには年間8200万人の観光客が訪れます。なぜフランスが観光大国なのか、どのようなところに魅力があるのか。海外のホテルやツアープランナーとして働くための専門を学びます。			
授業方法 と留意点			
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります</b> <12月11日(金) 17:30~19:00> 第1講: 「フランスの紹介」 フランスはどのような国ですか? パリ症候群について聞いたことがありますか? フランスの歴史、影響と文化を学びます! <12月18日(金) 17:30~19:00> 第2講: 「フランス語を話そう!」 フランス語会話を紹介します。フランス語が「世界中の最も美しい言語」といわれるその理由がわかります!			
その他			
テキスト	資料を配布する		
参考文献	特になし		
関連科目			
開講日時	12/11(金)	12/18(金)	
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話: 018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[73] Japanese Culture (外国人から見た日本)	科目 担当者	<学部・学科> 法学部 国際観光学科 <職・氏名> 准教授 デファルコ・リーアアン
<b>授業概要</b> 外国人がCool(かっこいい)とStrange(可笑しい)と捉える日本。それは、アニメやメイドカフェや食べ物etc…ですか？このまま日本の文化を維持できるのでしょうか？グローバルな視点から学びます。			
<b>授業方法と留意点</b>			
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数18名】先着順で募集を締め切ります</b>			
<u>&lt; 11月27日(金) 17:30~19:00 &gt;</u>			
第1講: 「Japan's Image」  外国人が日本を訪ねる時、どう感じるかあなたは考えましたか？海外の人々による日本のユニークな点はどうでしょうか？世界を見るための別の視点を身に付けます。			
<u>&lt; 12月 4日(金) 17:30~19:00 &gt;</u>			
第2講: 「Foreigners in Akita」  経済的に言えば、少子高齢化社会のせいで、秋田県と秋田市の観光収入が非常に重要になっています。  どのように秋田県と秋田市に観光客を引き付けたらよいのか学びましょう。			
その他			
テキスト	資料を配布する		
参考文献	特になし		
関連科目			
開講日時	11/27(金)		12/4(金)
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話: 018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[74] ユニバーサルツーリズム (どんな人でも旅ができる社会を目指して)	科目 担当者	〈学部・学科〉 法学部 国際観光学科 〈職・氏名〉 准教授 井上 寛
<b>授業概要</b> ユニバーサルツーリズムとは、すべての人が楽しめるよう創られた旅行であり、高齢や障がい等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく参加できる旅行を目指す考え方のことをいいます。ユニバーサルツーリズムの旅行プランを一緒に考えてみましょう。			
授業方法 と留意点	毎回スライドを使用してわかりやすく講義します。自分が知りたいことは、遠慮なく積極的にリクエストしてください。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります</b> <10月 9日(金) 17:30~19:00>			
第1講：「ユニバーサルツーリズムへの招待」  のりものやテーマパーク、そしてまちの中や観光地は、どんな人でも旅行をしやすいように進化を続けています。ユニバーサルツーリズムは何を目指しているのかを紹介します。			
<10月16日(金) 17:30~19:00>			
第2講：「ユニバーサルツーリズムの旅行プラン」  いろいろなケースを想定してユニバーサルツーリズムの旅行プランを考えてみましょう。グローバルな社会、そして高齢社会ではきっと役に立つテクニックが身につきます。			
その他			
テキスト	テキストは使用しません。資料などは当日配布します。		
参考文献	適宜紹介します。		
関連科目	地理歴史・公民		
開講日時	10/9(金)		10/16(金)
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1343(平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[75] 新しいツーリズム (アフターコロナの時代に向けて)	科目 担当者	<学部・学科> 法学部 国際観光学科 <職・氏名> 准教授 井上 寛
<b>授業概要</b> 新型コロナウイルスの流行により、不要不急の外出が制限され、行きたい場所にも自由に行くことができない今日この頃。アフターコロナのツーリズムはどのように変化していくのかを一緒に考えてみましょう。			
授業方法 と留意点	毎回スライドを使用してわかりやすく講義します。自分が知りたいことは、遠慮なく積極的にリクエストしてください。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数6名】先着順で募集を締め切ります</b> <12月11日(金) 17:30~19:00> 第1講: 「あそびの時間の重要性」 不要不急の外出が制限され、普段の生活から離れた「あそびの時間の重要性」について、世界中の人々が再認識しました。社会が目まぐるしく変化する中で、ツーリズムはどのように変わっていくのでしょうか。 <12月18日(金) 17:30~19:00> 第2講: 「新しいツーリズム」 働き方や学び方など人びとのライフスタイルも変化しようとしている中、ツーリズムのスタイルも変化していく可能性があります。アフターコロナにむけて新しいスタイルのツーリズムを学びます。			
その他			
テキスト	テキストは使用しません。資料などは当日配布します。		
参考文献	適宜紹介します。		
関連科目	地理歴史・公民		
開講日時	12/11(金)	12/18(金)	
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話: 018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[76] 役に立つ社会調査の技	科目 担当者	〈学部・学科〉 法学部 国際観光学科 〈職・氏名〉 准教授 井上 寛
授業概要	アンケート調査やインタビュー調査は社会のいろいろな場面で活用されています。ホンモノの社会調査の技を学べば、高校での学習に役立つほか、大学の研究はもちろんのこと、将来公務員でもマスコミでもどんな仕事にも必ず役に立ちます。		
授業方法 と留意点	毎回スライドを使用してわかりやすく講義します。自分が知りたいことは、遠慮なく積極的にリクエストしてください。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数6名】先着順で募集を締め切ります</b>			
< 11月27日（金）17:30～19:00 >			
第1講：「社会調査でできること」			
質問紙調査、聞き取り調査、観察調査…社会調査にもいろいろな種類があります。どんな場面でどんな社会調査が役に立つのかを学びます。			
< 12月 4日（金）17:30～19:00 >			
第2講：「チャレンジ！社会調査」			
スマートでカッコイイアンケート用紙はどのように作ればよいのでしょうか。実際に社会調査にチャレンジしてみましょう。			
その他			
テキスト	テキストは使用しません。資料などは当日配布します。		
参考文献	適宜紹介します。		
関連科目	地理歴史・公民		
開講日時	11/27（金）		12/4（金）
	17:30～19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1343（平日9:00～17:00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[77] スペイン語の世界	科目 担当者	〈学部・学科〉 法学部 国際観光学科 〈職・氏名〉 准教授 三浦 薫
授業概要	スペイン語は世界中の約4億人の人に話されている言語であり、まさに21世紀の国際語です。つまりスペイン語を学べば、4億の人とコミュニケーションをとれるということであり、その後ろにあるスペイン語圏の豊かな歴史と文化に触れることができるのです。ぜひ、スペイン語の世界をのぞいていませんか。		
授業方法 と留意点			
<b>授 業 計 画</b>			
【募集定員人数24名】先着順で募集を締め切ります			
<10月 7日 (水) 17:30~19:00>			
第1講: 「スペイン語の世界」			
スペイン語を公用語とする国々について学びましょう!			
<10月21日 (水) 17:30~19:00>			
第2講: 「スペイン語会話入門」			
世界中で2番目に多く話されているスペイン語を紹介します!			
その他			
テキスト	資料を配布します		
参考文献			
関連科目			
開講日時	10/7 (水)	10/21 (水)	
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話: 018-836-1343 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[78] 留学のすすめ	科目 担当者	〈学部・学科〉 法学部 国際観光学科 〈職・氏名〉 准教授 三浦 薫
<b>授業概要</b> 留学は、世界への扉を開いてくれるとともに、あなたの未来を大きく変えます。日本以外の国で直に人々に関わることで、あなたの世界観は必ず変わります。世界とオンラインで即座に結べるこのような時代だからこそ、今こそ若い皆さんには留学を薦めます。			
<b>授業方法と留意点</b>			
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数24名】先着順で募集を締め切ります</b> <11月11日（水）17:30~19:00>  第1講：「留学の価値について」  今だからこそ、日本を飛び出す価値があります。  <11月18日（水）17:30~19:00>  第2講：「留学への準備」  これをやれば有意義な留学生活を送ることができる！というっておきの話を伝授します。			
その他			
テキスト	資料を配布する		
参考文献			
関連科目			
開講日時	11/11（水）	11/18（水）	
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話：018-836-1343（平日9:00~17:00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		<b>大学等名</b>	秋田看護福祉大学	
<b>科目名</b> (サブタイトル)	[79] ようこそ看護学の世界へ (扉の向こうにあなたの未来がある)	<b>科目</b> <b>担当者</b>	(学部・学科) 看護福祉学部 看護学科 (職・氏名) 教授 小玉 光子 他 (計4名)	
<b>授業概要</b> 人々の健康や生命を守る看護の本質に触れながら、看護を必要とする方たちの健康を支援する看護学の魅力を紹介します。看護学科の専門領域の授業を通して、看護学の今後の可能性を高校生の皆さんと共に考えていきます。				
<b>授業方法と留意点</b>	大学で行っている「看護学」の講義や演習を身近に感じてもらえるように、受講者参加型の内容も含めながら、有意義な授業となるよう努めます。			
<b>授 業 計 画</b>				
<b>【募集定員人数50名】先着順で募集を締め切ります</b>				
<10月 3日 (土) 12:00~13:30>				
第1講: 「のぞいてみよう母性看護学~新生児のケア~」 母性看護学・助産学 准教授 工藤 優子				
<10月 3日 (土) 13:45~15:15>				
第2講: 「認定看護師が伝える“皮膚の大切さ”」 基礎看護学 教授 小玉 光子				
<10月31日 (土) 12:00~13:30>				
第3講: 「子どもの“気持ちの整理”を促す援助」 小児看護学 助教 伊藤 洋介				
<10月31日 (土) 13:45~15:15>				
第4講: 「活動援助技術のコツを知ろう！」 基礎看護学 講師 小畑 千春				
<b>その他</b>	この授業は、秋田看護福祉大学を会場に開講します。			
<b>テキスト</b>	適宜資料を配布します。			
<b>参考文献</b>				
<b>関連科目</b>	基礎看護学、小児看護学、母性看護学、助産学			
<b>開講日時</b>	10/3 (土)		10/31 (土)	
	12:00~13:30	13:45~15:15	12:00~13:30	13:45~15:15
<b>会場</b>	秋田看護福祉大学 住所: 大館市清水2丁目3-4			
<b>欠席連絡先</b>	電話: 0186-45-1717 (代表) (平日9:00~17:00) E-mail: soumu@well.ac.jp(教務課)			

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		<b>大学等名</b>	秋田看護福祉大学	
<b>科目名</b> (サブタイトル)	[80] 医療と福祉の探求		<b>科目</b> <small>(学部・学科)</small> 看護福祉学部 医療福祉学科	
		<b>担当者</b> <small>(職・氏名)</small> 准教授 石岡 和志 他 (計4名)		
<b>授業概要</b>	高齢者や障害者が住みなれた地域で普通に暮らすために、現代社会が抱える課題を福祉学の視点から考え、福祉学が実践においてこれらの課題にどのように取り組んでいるかについて学びます。また、医療と福祉の連携、福祉学を学ぶことの魅力について考え知る機会とします。			
<b>授業方法と留意点</b>	相談援助の現場での実際的な課題を提示し、授業参加者とともにその解決について考えていきます。積極的な参加を期待します。			
<b>授 業 計 画</b>				
<b>【募集定員人数30名】 先着順で募集を締め切ります</b>				
<10月 3日 (土) 12:00~13:30>				
第1講: 「地域福祉の実践~高齢者や障害者が安心して暮らすためには~」 社会福祉学 准教授 石岡 和志				
<10月 3日 (土) 13:45~15:15>				
第2講: 「刑事司法分野で活躍するソーシャルワーカー」 リーガルソーシャルワーク 助教 林 宏二				
<10月31日 (土) 12:00~13:30>				
第3講: 「はっぴーえんど~最期(さいご)を支える生活支援の可能性~」 臨床社会福祉学 助教 山田 克宏				
<10月31日 (土) 13:45~15:15>				
第4講: 「医療的ケアとは」 医療福祉学 准教授 今野 修				
<b>その他</b>	この授業は、秋田看護福祉大学を会場に開講します。			
<b>テキスト</b>	適宜資料を配布します。			
<b>参考文献</b>				
<b>関連科目</b>	医療福祉学・社会福祉学・精神保健福祉学・障害者福祉学			
<b>開講日時</b>	10/3 (土)		10/31 (土)	
	12:00~13:30	13:45~15:15	12:00~13:30	13:45~15:15
<b>会場</b>	秋田看護福祉大学 住所: 大館市清水2丁目3-4			
<b>欠席連絡先</b>	電話: 0186-45-1717 (代表) (平日9:00~17:00) E-mail: soumu@well.ac.jp(教務課)			

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名		日本赤十字秋田看護大学	
科目名 (サブタイトル)	[81] 高校生のための看護学入門 (「生きる」を支える人になる)		科目 担当者	〈学部・学科〉看護学部 看護学科 (職・氏名) 講師 新沼 剛 他 (計4名)	
授業概要 各専門領域の看護を紹介することで、看護のこころ、ケアについて理解と関心を深める。					
授業方法と留意点 講義はオムニバス形式で下記の担当者が行います。					
<b>授 業 計 画</b>					
<b>【募集定員人数50名】先着順で募集を締め切ります</b>					
<10月 3日(土) 13:30~15:00>					
第1講: 「高校生のための母性看護学」 准教授 猿田 了子 分娩の3要素と分娩の機序について学び、分娩経過に伴う看護の理解を深めます。					
<10月 3日(土) 15:15~16:45>					
第2講: 「高校生のための災害看護学「日本赤十字社による災害救護活動」」 講師 新沼 剛 東日本大震災を事例に、日本赤十字社の災害救護活動を概観し、災害時における看護師の役割について理解を深めます。					
<10月17日(土) 13:30~15:00>					
第3講: 「高校生のための老年看護学「認知症の人の理解」」 准教授 吹田 夕起子 高齢化の進展に伴い認知症の人は増加し、日本では様々な取り組みがされています。看護の対象である認知症の人の理解を深め、認知症の人と家族への支援について考える機会にしたいと思います。					
<10月17日(土) 15:15~16:45>					
第4講: 「コロナ時代に求められる養護教諭の活動」 特任教授 小笹 典子 養護教諭は、固有の活動と共に時代の変化に即応した新たな活動を展開していることについて理解を深めます。					
その他					
テキスト 講義の内容をまとめたプリント教材を毎回配布します。					
参考文献 授業の中で紹介します。					
関連科目					
10/3(土) 10/17(土)					
開講日時		13:30~15:00		15:15~16:45	
開講日時		13:30~15:00		15:15~16:45	
会場教室 カレッジプラザ					
欠席連絡先 日本赤十字秋田看護大学 電話: 018-829-2229 (平日9:00~17:00) E-mail: conso@std.rcakita.ac.jp					

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[82] なぜパッケージデザインが 必要なのか？	科目 担当者	(学部・学科) コミュニケーションデザイン専攻 (職・氏名) 准教授 孔鎮烈
<b>授業概要</b> 我々の身の周りにあるパッケージデザインの事例からパッケージの機能と役割を理解する。またパッケージデザインは、その国や地域の生活習慣と文化が密接に関係していることを理解する。			
授業方法 と留意点	本授業は、理論（講義）、演習（制作）、講評の流れで行う。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数10名】先着順で募集を締め切ります</b> <10月17日（土）13:30~15:00> 第1講：「パッケージデザインの概念」 パッケージデザインの機能と役割を理解し、パッケージデザインがなぜ必要なのかを講義する。 <10月17日（土）15:15~16:45> 第2講：「パッケージデザインを作ってみよう。」 第1講で学んだパッケージデザインの概念を基に自分たちが考えるパッケージデザインを制作する。			
その他	なし		
テキスト	なし		
参考文献	パッケージデザインマーケティング（日本能率協会マネジメントセンター）		
関連科目	ブランディングデザイン演習		
開講日時	10/17（土）		
	13:30~15:00	15:15~16:45	
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 企画課 電話：018-888-8478（平日8:30~17:15） E-mail: kikaku@akibi.ac.jp 前日までに欠席連絡（日曜日開催の授業の場合は、金曜日までに）		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田公立美術大学	
科目名 (サブタイトル)	[83] 景観デザインワークショップ (地域資源の気持ちになって考えよう)	科目 担当者	〈学部・学科〉 景観デザイン専攻 〈職・氏名〉 准教授 菅原 香織	
授業概要 地域資源を生かした景観デザインを考えるワークショップ形式の授業です。秋田駅西口バスターミナルを参考事例としたケーススタディ、「地域資源クエスト」を用いたフィールドワーク、デザインワークを行います。				
授業方法 と留意点	フィールドワークとデザインワークはチーム編成をして行います。能動的な態度を心がけて下さい。活動中は交通事故や体調不良・怪我に気をつけ、天候に応じた適切な服装で参加して下さい。			
<b>授 業 計 画</b>				
<b>【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります</b>				
< 11月15日(日) 9:30~11:00 >				
第1講: 「地域資源を生かした景観デザイン 地域資源クエストとは」 (講義) 秋田杉を生かした景観デザイン事例紹介・「地域資源クエスト」の開発経緯と使い方の説明・アイスブレイク				
< 11月15日(日) 11:10~12:40 >				
第2講: 「地域資源フィールドワーク 仲小路~秋田駅西口~広小路~千秋公園」 (現地調査) 【地域資源のみつめなおし】 カレッジプラザ周辺(仲小路~秋田駅西口~広小路~千秋公園)をグループごとに探索する。				
< 11月15日(日) 13:20~14:50 >				
第3講: 「フィールドワークのまとめと共有 ディスカッション」 (演習) 【地域資源のまなびなおし】 【地域資源のおもしろいおこし】 【地域資源のみなおし】				
< 11月15日(日) 15:00~16:30 >				
第4講: 「地域資源デザインワーク アイデア展開とふりかえり」 (演習) 【地域資源のつなぎなおし】 【地域資源のふりかえり】				
その他	昼食を持参ください。(昼食時間 12:40~13:20)			
テキスト	地域資源クエスト <a href="https://ru-cas.jp/rediscovery/quest/">https://ru-cas.jp/rediscovery/quest/</a> ※授業の際プリントを配布します			
参考文献	生業景デザイン研究所 <a href="https://ru-cas.jp/">https://ru-cas.jp/</a>			
関連科目	景観デザイン演習1、地域プロジェクト演習A・B			
開講日時	11/15(日)			
	9:30~11:00	11:10~12:40	13:20~14:50	15:00~16:30
会場教室	カレッジプラザ			
欠席連絡先	秋田公立美術大学 企画課			
	電話: 018-888-8478 (平日8:30~17:15) E-mail: <a href="mailto:kikaku@akibi.ac.jp">kikaku@akibi.ac.jp</a> 前日までに欠席連絡(日曜日開催の授業の場合は、金曜日までに)			

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[84] まちの特異点から読み解く 都市・建築デザイン	科目 担当者	(学部・学科) 景観デザイン専攻 (職・氏名) 助教 井上 宗則
<b>授業概要</b> 私たちが住むまちには、微高地や三角地といった周辺との相違から浮かび上がる「特異点」が存在しています。この特異点を顕在化させる建築物や土木構築物の解説を通して、都市や建築をデザインする手法について考えます。			
授業方法 と留意点	座学を中心としつつ、個人ワークを行う予定です。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります</b>			
<u>&lt;10月31日(土) 13:30~15:00&gt;</u>			
第1講：「都市観察の手法：特異点を発見する」			
私たちが住むまちは、地形・文化・制度などの様々な要因を背景として成立しています。第1講では、こうしたまちを形成する要因に焦点を当て、私たちの周りに多く存在する「特異点」を見つけ出す手法を学びます。			
<u>&lt;10月31日(土) 15:15~16:45&gt;</u>			
第2講：「空間デザインの手法：特異点を顕在化させる」			
特異点を発見することは、周辺環境とは異なるその場所の特性を理解することにつながります。第2講では、こうした特異点に建つ国内外の優れた都市や建築の解説を通して、場所の特徴を生かす空間デザインの手法を学びます。			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			
開講日時	10/31(土)		
	13:30~15:00	15:15~16:45	
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 企画課		
	電話：018-888-8478（平日8:30~17:15） E-mail: kikaku@akibi.ac.jp 前日までに欠席連絡（日曜日開催の授業の場合は、金曜日までに）		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[85] 正倉院とシルクロードの古代美術	科目 担当者	(学部・学科) 美術教育センター (職・氏名) 教授 井上 豪
<p><b>授業概要</b> 正倉院宝物の名品を紹介し、ペルシアやインド、ギリシアなど古代世界の幅広い文化交流の後を追う。正倉院宝物は天平時代工芸美術の粋を集めた、最高峰の宮廷コレクションであった。そこには遣唐使がもたらした中国・唐の国際的な文化が反映され、当時のシルクロード交易によるペルシアやインドの影響が色濃く窺える。本講座では、古代美術の意匠や技法を紹介するとともに、古代世界を遙かにつなぐシルクロードの文化について幅広く考えていきたい。</p>			
授業方法 と留意点	作品等のスライドを織り交ぜた講義形式。 板書は要点のみに押さえるので、各自で内容をまとめつつノートを取ることが望まれる。		
<b>授 業 計 画</b>			
<p><b>【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります</b></p> <p>&lt;10月17日(土) 13:30~15:00&gt;</p> <p>第1講：「螺鈿紫檀五絃琵琶 ～古代楽器のルーツを探る～」</p> <p>正倉院の五絃琵琶は、世界で唯一現存する五絃琵琶の遺品である。古代の琵琶には五絃と四絃の二種があり、ともに仏教壁画などに描かれているが、二つの琵琶は、実は全く起源の違う別の楽器だった。</p> <p>本講義では正倉院楽器に見られる華麗な美術工芸の世界と、シルクロードを巡る楽器の世界について探っていききたい。</p> <p>&lt;10月17日(土) 15:15~16:45&gt;</p> <p>第2講：「紫檀木画碁局と木画紫檀双六局 ～古代ボードゲームの東西～」</p> <p>正倉院宝物の碁盤と双六盤をとりあげる。碁と双六はともに奈良時代以前に日本に伝わり、伝統的な盤上遊戯として千年を超えて受け継がれてきた。碁は紀元前の中国が起源、双六の起源には諸説あるが、その原型は古代エジプトやメソポタミアに遡るといい、ペルシアやギリシアで爆発的に流行したものである。</p> <p>本講座では正倉院のゲーム盤をテーマに、装飾工芸とその意匠、ゲームの伝来など、多角的な視点で古代文化の伝来を読み解いていきたい。</p>			
その他	なし		
テキスト	なし		
参考文献			
関連科目			
開講日時	10/17(土)		
	13:30~15:00	15:15~16:45	
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 企画課		
	電話：018-888-8478（平日8:30~17:15） E-mail: kikaku@akibi.ac.jp 前日までに欠席連絡（日曜日開催の授業の場合は、金曜日までに）		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[86] 首里城正殿・守礼門 (琉球王朝文化の象徴)	科目 担当者	〈学部・学科〉美術教育センター (職・氏名) 教授 澤田 享
授業概要	沖縄（琉球）は、中国や東アジアの外交や貿易を行い、王朝文化が華開きました。それら建築についても本土ではほとんど見られない数々の特徴や美しさを有していました。先の大戦でそれらは悉く灰燼に帰してしまいましたが、先達の調査、研究の努力により多くが復元されました。そこで今回は特に琉球建築の象徴とされる城郭について、その技術（復元考も含む）について、わかりやすく詳述します。		
授業方法 と留意点	自作プリント、スライドにて、特徴のある構造や細部意匠の見どころについて解説し、理解を深めて頂きます。持参するものは筆記用具だけです。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数10名】先着順で募集を締め切ります</b>			
< 11月14日（土）13：30～15：00 >			
第1講：「首里城正殿」			
琉球の王朝文化の歴史と建築や芸術・美術の魅力について			
< 11月14日（土）15：15～16：45 >			
第2講：「首里城守礼門」			
門の構造や細部意匠、色彩・文様について			
その他			
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を配布します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	美術系、古建築系		
開講日時	11/14（土）		
	13：30～15：00	15：15～16：45	
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 企画課		
	電話：018-888-8478（平日8：30～17：15） E-mail: kikaku@akibi.ac.jp		
	前日までに欠席連絡（日曜日開催の授業の場合は、金曜日までに）		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		<b>大学等名</b>		聖霊女子短期大学	
<b>科目名</b> (サブタイトル)	[87] 初めての言語学			<b>科目担当者</b>	〈学部・学科〉生活文化科 生活文化専攻 〈職・氏名〉講師 ジョン サーロー
<b>授業概要</b> 何気ない気持ちで毎日使っている言葉（言語）について考える。コミュニケーションの探検から言葉の大切さや面白さを体験させる。					
<b>授業方法と留意点</b>	短い講義と簡単なグループワーク・意見交換を行う。				
<b>授 業 計 画</b>					
<b>【募集定員人数10名】先着順で募集を締め切ります</b>					
<10月 6日（火）17:30~19:00>					
第1講：「言語学とは何か（基本的な考え方・分野及び用語の説明）」					
<10月13日（火）17:30~19:00>					
第2講：「音声学と意味論（発音の仕組み、音と単語と意味との関係）」					
<10月20日（火）17:30~19:00>					
第3講：「文法（語形論（単語の形）・語順・文構造等）」					
<10月27日（火）17:30~19:00>					
第4講：「心理言語学（言語習得及び思考・感情・認知等について）」					
<11月10日（火）17:30~19:00>					
第5講：「社会言語学・方言学（年齢・性別等による言葉の使い方の違い）」					
<b>その他</b>					
<b>テキスト</b>	毎回プリントを配布する。				
<b>参考文献</b>	特になし。				
<b>関連科目</b>	なし				
<b>開講日時</b>	10/6（火）	10/13（火）	10/20（火）	10/27（火）	11/10（火）
	17:30~19:00				
<b>会場教室</b>	カレッジプラザ				
<b>欠席連絡先</b>	聖霊女子短期大学				
	電話：018-845-4111（平日9:00~17:00） E-mail: tandaijimu@akita-seirei.ac.jp				

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	聖霊女子短期大学	
科目名 (サブタイトル)	[88] 食品と栄養の基礎知識 (栄養士、管理栄養士、栄養教諭の仕事を理解するために)	科目 担当者	〈学部・学科〉生活文化科 健康栄養専攻 (職・氏名) 准教授 高山 裕子 他 (計4名)	
授業概要	栄養士養成課程で学ぶ栄養学、食品学、食品衛生学、給食管理、調理学といった分野について、基礎的で簡単な実験や演習も取り入れて解説。各講義で栄養士、管理栄養士、栄養教諭の業務と講義の関連についても説明。			
授業方法 と留意点	授業の目的は高校生向けに食品と栄養に関する正しい知識を伝え、食生活に興味をもってもらうことである。資料は各講師が講義前にプリントとして配付する。			
<b>授 業 計 画</b>				
<b>【募集定員人数24名】先着順で募集を締め切ります</b>				
<10月 3日 (土) 13:30~15:00> 講師 浅野 純平				
第1講: 「健康と栄養」 身体と栄養素について学び、実際に体組成計 (体重計に体脂肪や筋肉量の測定機能などがついた計器) を用いて自己の身体状況を把握し、栄養状態について考えます。				
<10月 3日 (土) 15:15~16:45> 講師 豊嶋 瑠美子				
第2講: 「はじめての食品成分表」 身近な食品の栄養価を知り、それらはどのような働きをしているのか理解しましょう。				
<10月17日 (土) 13:00~14:30> 講師 伊藤 雅子				
第3講: 「給食を提供すること」 給食を提供する対象者によって栄養士の仕事は多岐にわたっています。安全でおいしい食事を提供する方法について学びましょう。 (会場: 聖霊女子短期大学、集団調理の機器見学含む)				
<10月17日 (土) 14:45~16:15> 准教授 高山 裕子				
第4講: 「地域食材と調理」 秋田県の食材とその特徴を活かした調理方法について学びます。簡単な調理実験も行ってみましょう。				
その他	持参品: 筆記具 第3講と第4講は聖霊女子短期大学で行う。 住所: 秋田市寺内高野10-33 ※秋田駅西口より秋田中央交通バス 土崎方面 (新国道経由) 「高野二区」下車 (340円)			
テキスト	配布資料			
参考文献	定めない			
関連科目	生物 化学 家庭科 保健体育			
開講日時	10/3 (土)		10/17 (土)	
	13:30~15:00	15:15~16:45	13:00~14:30	14:45~16:15
会場教室	カレッジプラザ		聖霊女子短期大学	
欠席連絡先	聖霊女子短期大学 電話: 018-845-4111 (平日9:00~17:00) E-mail: tandaijimu@akita-seirei.ac.jp			

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	日本赤十字秋田短期大学
科目名 (サブタイトル)	[89] 高校生のための介護福祉入門 (介護におけるコミュニケーションと介護レクリエーション)	科目 担当者	<学部・学科> 介護福祉学科 (職・氏名) 講師 及川 真一 他 (計2名)
<b>授業概要</b> 介護や高齢者に対する基礎知識を学び、コミュニケーションとレクリエーションの意義と役割について解説していきます。			
授業方法 と留意点	講義と演習を組み合わせながら授業を進めていきます。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数18名】</b> 先着順で募集を締め切ります  <10月31日(土) 13:00~14:30>  第1講: 「「動機付け、意思決定をするためのコミュニケーション」」  講師 及川 真一  <10月31日(土) 14:45~16:15>  第2講: 「生活の中の喜びや楽しみを見いだすためのレクリエーション」  講師 佐藤 沙織			
その他			
テキスト	講義の内容をまとめたプリント教材を毎回配布します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目			
開講日時	10/31 (土)		
	13:00~14:30	14:45~16:15	
会場	カレッジプラザ		
欠席連絡先	日本赤十字秋田短期大学 電話: 018-829-2229 (平日9:00~17:00) E-mail: conso@std.rcakita.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	聖園学園短期大学
科目名 (サブタイトル)	[90] 楽しく学べる保育入門 (子どもと共に歩む保育とは)	科目 担当者	<学部・学科> 保育科 <職・氏名> 准教授 猿田 興子 他 (計3名)
<b>授業概要</b> 本学保育科で開講している保育関連科目を複数の教員がオムニバス形式で紹介することにより、保育に対する興味・関心を高めるとともに、保育の理解につなげます。			
授業方法 と留意点	講義と実際の動きを伴った演習の組み合わせで授業を進めます。子どもや保育に興味・関心があれば、事前に難しい知識は必要ありません。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数50名】先着順で募集を締め切ります。</b>			
<10月 1日 (木) 17:30~19:00>			
第1講: 「保育の面白さ~成長につながる遊びと生活」 (保育実習) 准教授 猿田 興子			
<10月 8日 (木) 17:30~19:00>			
第2講: 「遊びと心理学~遊ぶ力と発達~」 (発達心理学) 准教授 金澤 久美子			
<11月 5日 (木) 17:30~19:00>			
第3講: 「子どもって本当におもしろい! ~子どもの言葉から見えること~」 (保育内容の指導法 言葉) 准教授 蛭田 一美			
その他	新型コロナウイルス感染症対策のため人数を制限して実施します。		
テキスト	なし		
参考文献	なし		
関連科目	保育実習、発達心理学、保育内容の指導法 言葉		
開講日時	10/1 (木)	10/8 (木)	11/5 (木)
	17:30~19:00		
会場教室	カレッジプラザ		
欠席連絡先	聖園学園短期大学 電話: 018-862-0337 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomuka@misono-jc.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[91] 教師ミニミニ体験 (教職への展望をひらく)	科目 担当者	(学部・学科) 高大接続センター (職・氏名) 教授 伊藤 成年 他 (計3名)
<p><b>授業概要</b> 教職を目指す高校生のための講座です。大学での円滑な実習につなげるために、学習指導案の読み取りや学習指導案(略案)の作成、教育専門監の授業(ビデオ)を教材に授業づくりの要点等について学びます。また、秋田県教育の特色や教師に必要とされる資質・能力について講義やグループ協議を通して学び、教職を志す生徒のキャリア発達を促します。</p>			
授業方法 と留意点	授業は講義と演習を組み合わせで行います。内容によっては、グループワークや全体での協議・発表が中心となりますので主体的な参加が期待されます。受講者の事前準備は必要ありません。		
<b>授 業 計 画</b>			
<p><b>【募集定員人数30名】先着順で募集を締め切ります</b>                  &lt;10月 3日(土) 10:00~11:30&gt; 教授 伊藤 成年</p> <p>第1講: 「<b>教職の魅力とその世界</b>」                  自らの教職体験をもとに、児童生徒と教師との関わりによって紡ぎ出される教職の真の魅力について伝えるとともに、教職の世界について正しい理解が図られるようにします。また、受講者が、それぞれどのような教師像を抱いているのかについてグループで語り合い、互いに教職を目指す心を見つめ直し、考えを深めることができるようにします。(公立小学校採用20代教員による講話40分程度を含む)</p> <p>&lt;10月 3日(土) 12:30~14:00&gt; 教授 伊藤 成年</p> <p>第2講: 「<b>「学習指導案の読み取りと略案の作成」及び「ビデオ視聴による授業に関する学び」</b>」                  学校の日課はほぼ授業で占められています。授業は、児童生徒にどのような力を身に付けさせるのか、ねらいや手立て評価等の考え方が事前にしっかりと設計されている必要があります。教職への入門として、学習指導案の見方、略案の作成等について学びます。                  授業力に秀でた教育専門監の授業場面のビデオを視聴し、児童生徒を引きつける教師の態度・振る舞い等の表現力や「学習課題」を設定するまでの学習意欲の引き出し方等について学びます。                  また、ビデオ視聴やサンプルの学習指導案を基に、授業の導入部分の演じ方について協議し練り上げグループ発表します(グループ協議・演習)。(公立中学校採用20代教員による講話40分程度を含む)</p> <p>&lt;10月 3日(土) 14:15~15:45&gt; 教授 伊藤 成年</p> <p>第3講: 「<b>秋田県教育の特色(全国学力・学習状況調査結果等の分析から)及び教師に必要とされる資質・能力について</b>」                  全国学力・学習状況調査において、毎回全国トップレベルの秋田県児童生徒の学力や質問紙にみる生活や家庭学習等の実態を把握します。また、このような結果が、教員の熱心な研修姿勢や地域社会の協力、県・市町村教育委員会の特色ある教育行政施策によってもたらされていることについて学びます。すぐれた秋田県教育の実状について幅広い知見を得ることができます。さらに、教師に必要とされる資質・能力とは何かについて考えます。</p>			
その他	昼食を持参ください。(昼食時間 11:30~12:30)		
テキスト	なし(講義資料を配布する)。		
参考文献	なし。		
関連科目			
開講日時	10/3(土)		
	10:00~11:30	12:30~14:00	14:15~15:45
会場教室	秋田県立大館国際情報学院高等学校		
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス 電話: 018-889-3191 (秋田大学 総合学務課 平日9:00~17:00) E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（後期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[92] 高校生のための「教職入門」 (教職への展望をひらく)	科目 担当者	(学部・学科) 高大接続センター (職・氏名) 教授 伊藤 成年 他 (計2名)
<b>授業概要</b> 教職を目指す高校生のための講座です。大学での円滑な実習につなげるために、学習指導案の読み取りや学習指導案(略案)の作成、教育専門監の授業(ビデオ)を教材に授業づくりの要点等について学びます。また、秋田県教育の特色や教師に必要とされる資質・能力について講義やグループ協議を通して学び、教職を志す生徒のキャリア発達を促します。			
授業方法 と留意点	授業は講義と演習を組み合わせで行います。内容によっては、グループワークや全体での協議・発表が中心となりますので主体的な参加が期待されます。受講者の事前準備は必要ありません。		
<b>授 業 計 画</b>			
<b>【募集定員人数20名】 先着順で募集を締め切ります</b> <b>&lt; 11月14日(土) 10:00~11:30 &gt; 教授 伊藤 成年</b> 第1講: 「 <b>教職の魅力とその世界</b> 」 自らの教職体験をもとに、児童生徒と教師との関わりによって紡ぎ出される教職の真の魅力について伝えるとともに、教職の世界について正しい理解が図られるようにします。また、受講者が、それぞれどのような教師像を抱いているのかについてグループで語り合い、互いに教職を目指す心を見つめ直し、考えを深めることができるようにします。(公立学校採用20代教員による講話40分程度を含む)			
<b>&lt; 11月14日(土) 12:30~14:00 &gt; 教授 伊藤 成年</b> 第2講: 「 <b>「学習指導案の読み取りと略案の作成」及び「ビデオ視聴による授業に関する学び」</b> 」 学校の日課はほぼ授業で占められています。授業は、児童生徒にどのような力を身に付けさせるのか、ねらいや手立て評価等の考え方が事前にしっかりと設計されている必要があります。教職への入門として、学習指導案の見方、略案の作成等について学びます。 授業力に秀でた教育専門監の授業場面のビデオを視聴し、児童生徒を引きつける教師の態度・振る舞い等の表現力や「学習課題」を設定するまでの学習意欲の引き出し方等について学びます。 また、ビデオ視聴やサンプルの学習指導案を基に、授業の導入部分の演じ方について協議し練り上げグループ発表します(グループ協議・演習)。(公立学校採用20代教員による講話40分程度を含む)			
<b>&lt; 11月14日(土) 14:15~15:45 &gt; 教授 伊藤 成年</b> 第3講: 「 <b>秋田県教育の特色(全国学力・学習状況調査結果等の分析から)及び教師に必要とされる資質・能力について</b> 」 全国学力・学習状況調査において、毎回全国トップレベルの秋田県児童生徒の学力や質問紙にみる生活や家庭学習等の実態を把握します。また、このような結果が、教員の熱心な研修姿勢や地域社会の協力、県・市町村教育委員会の特色ある教育行政施策によってもたらされていることについて学びます。すぐれた秋田県教育の実状について幅広い知見を得ることができます。さらに、教師に必要とされる資質・能力とは何かについて考えます。			
その他	昼食を持参ください。(昼食時間 11:30~12:30)		
テキスト	なし(講義資料を配布する)。		
参考文献	なし。		
関連科目			
開講日時	11/14(土)		
	10:00~11:30	12:30~14:00	14:15~15:45
会場教室	秋田県立横手高等学校 定時制課程 青雲館		
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス 電話: 018-889-3191 (秋田大学 総合学務課 平日9:00~17:00) E-mail: conso@jim.u.akita-u.ac.jp		